

平成 29 年度(第 80 回)通常総会資料

日時 平成 29 年 2 月 16 日(木曜日) 10:30~11:45
場所 東京都千代田区一ツ橋 2-1-1
如水会館 2 階 オリオンルーム

頁

【監査報告】			1
【平成 28 年度の総括と平成 29 年度の目標】			2
【決議事項】			
第 1 号議案	平成 28 年度決算報告承認の件	定款第 39 条の 1 および 2	3
第 2 号議案	平成 29 年度役員選任の件	定款第 23 条	11
第 3 号議案	名誉会員委嘱の件	定款第 5 条の 5	12
第 4 号議案	常勤役員の報酬に関わる件	定款第 28 条	13
【報告事項】			
報告 1	平成 28 年度事業報告	定款第 39 条の 1 および 2	13
	1. 平成 28 年度通常総会報告		13
	2. 会員動向報告		14
	3. 事業報告(公 1:編集出版事業)		15
	4. 事業報告(公 2:研究会事業)		15
	5. 事業報告(公 3:表彰事業)		25
	6. 事業報告(他 1:共益事業)		27
報告 2	平成 29 年度事業計画	定款第 38 条の 2	29
報告 3	平成 29 年度収支予算	定款第 38 条の 2	31
報告 4	永年会員昇格者	定款第 5 条の 5	34
【参考資料】	(付表 1) 平成 28 年度一般正味財産の構成表		35



公益社団法人 有機合成化学協会

平成 29 年 2 月 16 日

【監査報告】

監査報告書

私たち監事は、平成28年1月1日から平成28年12月31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

平成29年1月24日

公益社団法人有機合成化学協会

監事 味戸 慶一

味戸 慶一 

公益社団法人有機合成化学協会

監事 石原 雄二

石原 雄二 

公益社団法人有機合成化学協会

監事 小林 進

小林 進 

以上

平成 28 年度の総括と平成 29 年度の目標

平成 28 年度における各事業の概要、法人管理・運営状況と平成 29 年度の目標について説明する。

【平成 28 年度の課題と取り組み】

本会の発展には事業価値の持続的な向上が重要である。そこで平成 28 年度には理事 14 名で構成される二つの分科会を設置し、第一分科会では新規研究会事業の企画立案、第二分科会では表彰事業の再検討を行っており、これまでに夫々アクションプランの提案に至っている。

我々には科学技術の発展に寄与するのみならず、会員メリットの向上を意識した事業企画が求められている。そのひとつとして、会員企業の技術課題を解決するために、経験豊富な個人会員が協力する「技術アドバイス事業」を新設した。現在、技術アドバイザー登録者を募集している。

【編集・出版事業】

有機合成化学協会誌は予定通り 12 号を刊行した。5 月特集号のテーマは「有機合成化学とケミカルバイオロジーの接点」とし、学際領域への有機合成化学者たちのアプローチと成果を 13 編の総合論文を通して論じている。また、編集委員会を中心に、より充実した協会誌を目指した建設的な議論が活発に行われている。

【研究会事業】

事業委員会は現行事業の質の向上を目指して活動している。本会の有機合成シンポジウムの特長は、高度な研究にゆとりある発表時間を提供し、活発な議論の場となっている点であるが、発表件数には限りがあった。そこで 28 年度春のシンポジウムからはポスター発表を新設しており、これによって参加者数と発表件数の増加につながった。秋のシンポジウムはこれまでどおり口頭発表 & ポスター掲示とポスター発表の二つの発表形式併用を踏襲している。

有機合成化学講習会のプログラムは事業委員会での十分な議論・検討を通して改良を重ねている。長い歴史を誇る基幹事業の一つであり、実用的な講習会として、今後も地道な発展を目指す。

理事会第一分科会では、次世代の研究リーダーの養成を目指した講習会・情報交換会(人脈づくり)の新設を検討している。この事業では、特に企業で研究マネジメントに携わる方々に、技術情報に限定されない有用

な情報やノウハウを提供してゆきたい。

【表彰事業】

有機合成化学奨励賞応募者の研究レベルは年々顕著な向上を見せており、本邦の有機合成化学は常に世界トップレベルであることが確認できる。有機合成化学特別賞、有機合成化学協会賞・奨励賞、Mukaiyama Award、Lectureship Award などの本会独自の賞に加え、第一三共賞、日産化学賞、富士フイルム賞、高砂香料国際賞「野依賞」、研究企画賞など会員企業の寄付に基づく賞も充実しており、研究者のモチベーション向上に大きく貢献している。

【相互交流】

本部・支部主催の各種懇談会では会員間の情報交換・交流の場を提供している。新春フォーラムや企業の若手有機合成研究者と学生の交流会など、どれも好評である。本会には化学、薬学、農学等の多分野の研究者や研究企画担当者が集う。その中で情報交換は他の会では得られぬ学際的、複合技術的な内容をも有しており、現行事業や新しい事業を通じて、その魅力を一層向上させてゆく。

【財務環境の改善と新年度の目標】

28 年度の支部事業では、前年度比 132 千円；前々年比 2,461 千円の増益があった。その結果、連結一般会計赤字予算(▲208 万円)が黒字決算(328 万円)に好転した。今後も同様の支部事業増益が期待できるか否か不明であるが、本会の財務は研究会事業の収益性に大きく影響されることを示す好例となった。

会員数、広告料収入、資産利息などの減少は本会の財政を圧迫してきたが、過去数年間にわたる経費の合理化と法人会費や研究会参加料の改正等によって着実に赤字幅を減縮させている。そこで今後数年間は大きな赤字決算に直面することなく本会を安定的に運営できるものと思われるが、持続的な発展には事業収益の改善が必須である。冒頭に述べた通り、理事が先頭に立って事業刷新を目指した検討を加えており、昨年度に蒔いた種は本稿にも随所に見られるとおりである。

75 年の歴史の中で培われた本会の貴重な財産であるプラットフォームを活用し、本会ならではの事業の継続と改廃や新規事業の創出を理事が中心となって、たゆまぬ歩みを続ける決意である。

【決議事項】

第1号議案 平成28年度決算報告承認の件

定款39条に定めるところにより、p.3~10に示す諸表のとおり平成28年度決算書類を承認する。

表1.1 平成28年度正味財産増減計算書

(平成28年1月1日から平成28年12月31日まで)

科目	H28決算 A	H28予算 B	H27決算 C	A-B	A-C
【一般正味財産増減の部】					
1. 経常増減の部	A	B	C	D	E
経常収益	141,285,711	136,423,250	137,435,382	4,862,461	3,850,329
特定資産運用益					
特定資産受取利息	811,562	844,000	850,145	▲ 32,438	▲ 38,583
退職特定資産受取利息	3,828	5,000	5,204	▲ 1,172	▲ 1,376
受取会費					
正会員費受取会費	71,280,430	71,476,500	72,780,255	▲ 196,070	▲ 1,499,825
事業収益	57,549,634	53,958,000	56,526,507	3,591,634	1,023,127
編集出版事業収益	16,326,797	15,488,000	15,895,823	838,797	430,974
研究会事業収益	37,322,837	34,170,000	36,280,684	3,152,837	1,042,153
表彰事業収益	3,900,000	4,300,000	4,350,000	▲ 400,000	▲ 450,000
受取寄付金	6,848,516	6,700,000	6,955,784	148,516	▲ 107,268
共催分担金	1,335,500	1,100,000	1,560,000	235,500	▲ 224,500
国際賞基金	3,733,762	4,000,000	3,721,151	▲ 266,238	12,611
Mukaiyama Award基金	1,651,254	1,600,000	1,674,633	51,254	▲ 23,379
受取一般寄付金	128,000			128,000	128,000
雑収益	4,791,741	3,439,750	317,487	1,351,991	4,474,254
受取利息	7,111	9,750	11,200	▲ 2,639	▲ 4,089
雑収益	1,507,930	100,000	120,287	1,407,930	1,387,643
懇親会参加料収益	3,276,700	3,330,000	186,000	▲ 53,300	3,090,700
経常費用	138,002,582	138,503,800	134,624,490	▲ 501,218	3,378,092
事業費および管理費	138,002,582	138,503,800	134,624,490	▲ 501,218	3,378,092
編集出版事業費	26,083,745	27,210,215	27,438,083	▲ 1,126,470	▲ 1,354,338
研究会事業費	32,109,642	32,738,073	33,800,529	▲ 628,431	▲ 1,690,887
表彰事業費	10,109,464	10,807,637	10,417,837	▲ 698,173	▲ 308,373
給料手当	31,544,107	30,590,000	31,505,084	954,107	39,023
アルバイト費	2,641,050	2,400,000	2,394,999	241,050	246,051
退職給付費用	3,003,828	2,300,000	2,005,204	703,828	998,624
その他人件費(福利厚生費)	6,472,380	6,455,000	6,137,434	17,380	334,946
懇親会費	6,683,803	6,225,000	1,497,325	458,803	5,186,478
会議費	947,920	1,870,000	1,536,990	▲ 922,080	▲ 589,070
旅費交通費	3,379,353	3,795,000	3,449,405	▲ 415,647	▲ 70,052
通信費	1,267,647	1,346,000	1,301,393	▲ 78,353	▲ 33,746
什器備品費	181,440	167,000	167,022	14,440	14,418
事務用品・リース費	2,069,189	1,900,000	1,906,055	169,189	163,134
水道光熱費	260,645	290,000	290,235	▲ 29,355	▲ 29,590
事務所賃借料	4,367,520	4,367,000	4,367,520	520	0
諸謝金	1,095,552	1,100,000	1,095,077	▲ 4,448	475
雑費(税・手数料・会費・IT)	5,785,297	4,942,875	5,314,298	842,422	470,999
当期経常増減額	3,283,129	▲ 2,080,550	2,810,892	5,363,679	472,237
2. 経常外増減の部					
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額					
一般正味財産期首残高	297,992,840	297,992,840	295,181,948	0	2,810,892
一般正味財産期末残高	301,275,969	295,912,290	297,992,840	5,363,679	3,283,129
【指定正味財産増減の部】					
1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金					
特定資産運用益計	4,000,386	4,001,200	1,210	▲ 814	3,999,176
特定資産受取利息	386	1,200	1,210	▲ 814	▲ 824
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	0	0	4,000,000
一般正味財産への振替額	▲ 3,733,762	▲ 4,000,000	▲ 3,721,151	266,238	▲ 12,611
当期指定正味財産増減額	266,624	1,200	▲ 3,719,941	265,424	3,986,565
指定正味財産期首残高	3,512,648	3,512,648	7,232,589	0	▲ 3,719,941
指定正味財産期末残高	3,779,272	3,513,848	3,512,648	265,424	266,624
2. Mukaiyama Award基金					
特定資産運用益計	1,517	2,800	617,334	▲ 1,283	▲ 615,817
特定資産受取利息	1,517	2,800	2,905	▲ 1,283	▲ 1,388
受取寄付金	0	0	614,429	0	▲ 614,429
一般正味財産への振替額	▲ 1,651,254	▲ 1,600,000	▲ 1,674,633	▲ 51,254	23,379
当期指定正味財産増減額	▲ 1,649,737	▲ 1,597,200	▲ 1,057,299	▲ 52,537	▲ 592,438
指定正味財産期首残高	13,655,048	13,655,048	14,712,347	0	▲ 1,057,299
指定正味財産期末残高	12,005,311	12,057,848	13,655,048	▲ 52,537	▲ 1,649,737
【正味財産】					
正味財産期末残高	317,060,552	311,483,986	315,160,536	5,576,566	1,900,016

表 1・2 平成 28 年度正味財産増減内訳表(1/3)

(平成28年1月1日から平成28年12月31日まで)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
	A	B	C	D	E	F	G
【一般正味財産増減の部】							
1. 経常増減の部							
経常収益計	16,335,522	38,359,945	8,981,245	56,311,540	3,543,413	17,754,046	141,285,711
特定資産運用益	8,725	6,608	796,229				811,562
編集出版特定資産受取利息	8,725						
研究会特定資産受取利息		6,608					
表彰特定資産受取利息			796,229				
退職特定資産受取利息						3,828	3,828
受取会費				56,311,540	2,138,413	12,830,477	71,280,430
個人会員費受取会費				30,405,319			38,487,745
法人会員費受取会費				23,673,681			29,966,685
団体会員費受取会費				126,400			160,000
学生会員費受取会費				2,106,140			2,666,000
事業収益	16,326,797	37,017,837	2,800,000		1,405,000		57,549,634
編集出版事業収益	16,326,797						16,326,797
会誌事業収益	4,580,400						4,580,400
広告事業収益	9,997,020						9,997,020
別冊事業収益	109,815						109,815
会誌関係雑収益	60,400						60,400
単行本印税収益	1,297,613						1,297,613
複写権使用料収益	281,549						281,549
研究会事業収益		37,017,837			305,000		37,322,837
シンポジウム事業収益		21,504,599					21,504,599
講習会事業収益		12,970,440					12,970,440
懇談会事業収益		2,542,798			305,000		2,847,798
見学会事業収益							
表彰事業収益			2,800,000		1,100,000		3,900,000
企業冠賞事業収益			2,800,000				2,800,000
研究企画賞事業収益					1,100,000		1,100,000
その他表彰事業収益							
寄付金収益		1,335,500	5,385,016			128,000	6,848,516
受取寄付金		1,335,500	5,385,016			128,000	6,848,516
雑収益						4,791,741	4,791,741
受取利息						7,111	7,111
雑収益						1,507,930	1,507,930
懇親会参加料収益						3,276,700	3,276,700

表 1・3 平成 28 年度正味財産増減内訳表(2/3)

(平成28年1月1日から平成28年12月31日まで)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
経常費用	46,009,297	56,293,276	15,802,055	0	3,393,640	16,504,314	138,002,582
事業費	46,009,297	56,293,276	15,802,055		3,393,640		121,498,268
編集出版事業費	26,083,745						26,083,745
印刷製本費	11,501,440						11,501,440
用紙費	3,899,124						3,899,124
原稿料・校正費	899,875						899,875
編集費	865,330						865,330
送達費	7,808,716						7,808,716
別冊作成費	270,270						270,270
電子出版費	838,990						838,990
研究会事業費		31,895,029			214,613		32,109,642
シンポジウム費		19,966,767					19,966,767
講習会費		5,843,447					5,843,447
懇談会費		3,056,150			214,613		3,270,763
見学会事業費							
研究会議費		81,320					81,320
事務委託費		2,632,345					2,632,345
支払寄付金		315,000					315,000
表彰事業費			9,892,053		217,411		10,109,464
表彰事業費			2,377,696				2,377,696
企業冠賞費用			2,222,410				2,222,410
研究企画賞費					217,411		217,411
国際賞費用			3,733,762				3,733,762
Mukaiyama Award事業費			1,558,185				1,558,185
給料手当	11,037,916	12,616,383	3,154,096		1,581,307		28,389,702
アルバイト費	1,026,840	1,173,683	293,421		147,106		2,641,050
退職給付費用	1,051,100	1,201,412	300,353		150,582		2,703,447
その他人件費(福利厚生費)	2,264,814	2,588,692	647,173		324,460		5,825,139
会議費	172,198	258,324	57,399		28,726		516,647
旅費交通費	587,698	881,636	195,899		98,038		1,763,271
通信費	347,270	520,956	115,757		57,930		1,041,913
什器備品費	54,427	81,648	18,142		9,079		163,296
事務用品・リース費	620,696	931,138	206,899		103,542		1,862,275
水道光熱費	78,187	117,293	26,062		13,043		234,585
事務所賃借料	1,310,125	1,965,384	436,708		218,551		3,930,768
雑費(税・手数料・会費・IT)	1,374,281	2,061,698	458,093		229,252		4,123,324

表 1・4 平成 28 年度正味財産増減内訳表(3/3)

(平成28年1月1日から平成28年12月31日まで)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
管理費						16,504,314	16,504,314
給料手当						3,154,405	3,154,405
退職給付費用						300,381	300,381
其他人件費(福利厚生費)						647,241	647,241
懇親会費用						6,683,803	6,683,803
会議費						431,273	431,273
旅費交通費						1,616,082	1,616,082
通信費						225,734	225,734
什器備品費						18,144	18,144
事務用品・リース費						206,914	206,914
水道光熱費						26,060	26,060
事務所賃借料						436,752	436,752
諸謝金						1,095,552	1,095,552
雑費(税・手数料・会費・IT)						1,661,973	1,661,973
当期経常増減額	▲ 29,673,775	▲ 17,933,331	▲ 6,820,810	56,311,540	149,773	1,249,732	3,283,129
2. 経常外増減の部							
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額							
一般正味財産期首残高							297,992,840
一般正味財産期末残高							301,275,969
当期一般正味財産増減額							3,283,129
【指定正味財産増減の部】							
1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
指定正味財産運用益			266,624				266,624
特定資産受取利息			386				386
受取寄付金			4,000,000				4,000,000
一般正味財産への振替額			▲ 3,733,762				▲ 3,733,762
指定正味財産期首残高			3,512,648				3,512,648
指定正味財産期末残高			3,779,272				3,779,272
2. Mukaiyama Award基金							
指定正味財産運用益			▲ 1,649,737				▲ 1,649,737
特定資産受取利息			1,517				1,517
受取寄付金							
一般正味財産への振替額			▲ 1,651,254				▲ 1,651,254
指定正味財産期首残高			13,655,048				13,655,048
指定正味財産期末残高			12,005,311				12,005,311
【正味財産期末残高】							
正味財産期末残高							317,060,552

表 1・5 主な科目の対予算・対前年度決算比較

科 目	28 年度予算との差額(千円)		27 年度決算との差額(千円)		
	収入	費用	収入	費用	
一般会計全体	7,013 ^{*1}	1,650 ^{*1}	3,851	3,379	
受取会費収入	▲ 197		▲ 1,500		
事業	編集・出版	839	▲ 1,126	431	▲ 1,354
	研究会	5,303 ^{*1,2}	1,522 ^{*1}	1,042	▲ 1,691
	表彰	▲ 615	▲ 699	▲ 461	▲ 309
法人運営関連	人件費		1,916		1,619
	会議費・旅費・通信費		▲ 1,416		▲ 692
	事務費・諸運営費		150		148
	懇親会収入／費用	▲ 53	459	3,091 ^{*3}	5,187 ^{*3}
	雑収入／雑費	1,405 ^{*4}	842 ^{*4}	1,384	471
正味財産増減額	5,364		472		

- *1 海外視察団派遣事業を実施していないので、28 年度予算に計上した同事業収入／費用(ともに 2,150 千円)を差し引いた。
- *2 北海道支部有機合成化学セミナー(+3,000 千円)；関東支部研究会(+1,000 千円)；関西支部(+1,400 千円)の寄与が大きい。
- *3 27 年度は本部会計のみを対象とした。支部の懇親会収入・費用は研究会と表彰事業に計上されている。
- *4 28 年度に臨時で行った受託調査(収入 1,200 千円；費用 800 千円)を含む。

表 1・6 関東支部増収の主因

関東支部イベント	一過性の要因
農工大シンポジウム	会場費無償；指導教員の協力により、参加者が増加した。
新潟薬大シンポジウム	会場の交通利便性がよく、例年のチャーターバスが不要であった。

表 1・7 関西支部増収の主因

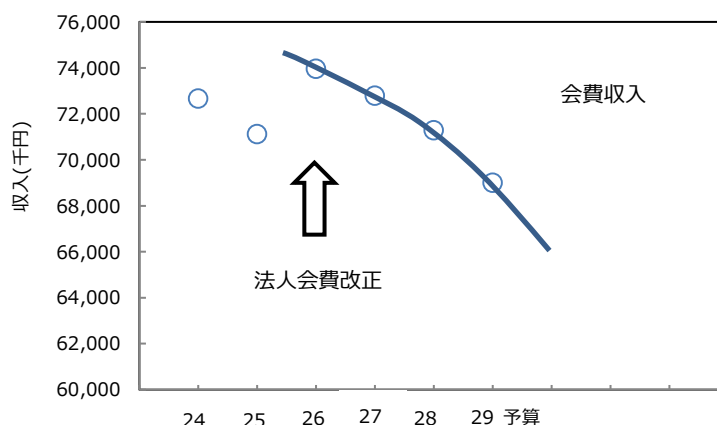
関西支部イベント	一過性の要因
講習会 2 月セミナー	昨年の講習会で収益が下がり危機感をもったため、支部幹事、世話人が努力した結果が大きいと思われる。
講習会夏季セミナー	昨夏の夏期セミナーからは学生の料金を 5 千円から 7 千円に上げたため、学生の参加者数が増えても財政を圧迫しなくなったことも要因のひとつかと思われる。

表 1・8 上記増収イベントにおける参加者の増加数

運営機関	関東支部		関西支部			
	春季シンポジウム		講習会_2月セミナー		講習会_夏季セミナー	
イベント名称	一般	学生	一般	学生	一般	学生
参加者数						
平成 27 年度	78	118	72	47	55	53
平成 28 年度	96	223	89	78	72	40

会費収益の経年変化

28 年度までの会費減収は、主として個人・学生会員の退会によるものである。29 年度は法人会員の退会または等級の見直しによる減収が 100 万円を超えることが明らかとなっている。関連学協会の会費改正が進行中であり、その影響という可能性がある。



次年度以降に向けて

会員数が減少している現状において、本会の安定的な運営には事業の収益性を向上させることが最も有効である。研究会事業収益の半数は支部事業によって得られるものであり、本部の事業改革と並行して支部事業の収益性確保が重要である。

表 1・9 平成 28 年度貸借対照表

平成28年12月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部	A	B	C
1. 流動資産			
現金預金	98,340,727	92,271,673	6,069,054
未収収益	244,271	137,155	107,116
前払金	581,477	553,105	28,372
立替金	0	540	▲ 540
仮払金	179,280	11,006	168,274
流動資産合計	99,345,755	92,973,479	6,372,276
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
編集出版事業特定資産	25,308,933	28,300,208	▲ 2,991,275
研究会事業特定資産	29,510,470	29,503,931	6,539
表彰事業特定資産	201,163,570	202,367,341	▲ 1,203,771
国際賞基金	3,779,272	3,512,648	266,624
Mukaiyama Award基金	12,005,311	13,655,048	▲ 1,649,737
退職給付引当特定資産	19,385,704	16,381,876	3,003,828
特定資産合計	291,153,260	293,721,052	▲ 2,567,792
(2) その他固定資産			
差入保証金	4,698,000	4,698,000	0
電話加入権	127,284	127,284	0
その他固定資産合計	4,825,284	4,825,284	0
固定資産合計	295,978,544	298,546,336	▲ 2,567,792
資産合計	395,324,299	391,519,815	3,804,484
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	4,095	▲ 4,095
前受金	57,303,152	58,462,320	▲ 1,159,168
預り金	1,479,891	1,410,988	68,903
仮受金	95,000	100,000	▲ 5,000
流動負債合計	58,878,043	59,977,403	▲ 1,099,360
2. 固定負債			
退職給付引当金	19,385,704	16,381,876	3,003,828
固定負債合計	19,385,704	16,381,876	3,003,828
負債合計	78,263,747	76,359,279	1,904,468
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国際賞受託金	3,779,272	3,512,648	266,624
Mukaiyama Award基金	12,005,311	13,655,048	▲ 1,649,737
指定正味財産合計	15,784,583	17,167,696	▲ 1,383,113
(うち特定資産への充当額)	(15,784,583)	(17,167,696)	(▲1,383,113)
2. 一般正味財産	301,275,969	297,992,840	3,283,129
正味財産合計	317,060,552	315,160,536	1,900,016
負債及び正味財産合計	395,324,299	391,519,815	3,804,484

表 1・10 平成 28 年度貸借対照表内訳表

平成28年12月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			その他会計	法人会計	合計
	編集・出版事業会計	研究会事業会計	表彰事業会計			
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金					98,340,727	98,340,727
未収収益			65,418		178,853	244,271
前払金			93,069		488,408	581,477
立替金						0
仮払金					179,280	179,280
流動資産合計	0	0	158,487	0	99,187,268	99,345,755
2. 固定資産						
(1) 特定資産						
編集出版事業特定資産	25,308,933					25,308,933
研究会事業特定資産		29,510,470				29,510,470
表彰事業特定資産			201,163,570			201,163,570
国際賞基金			3,779,272			3,779,272
Mukaiyama Award 基金			12,005,311			12,005,311
退職給付引当特定資産					19,385,704	19,385,704
特定資産合計	25,308,933	29,510,470	216,948,153	0	19,385,704	291,153,260
(2) その他固定資産						
差入保証金					4,698,000	4,698,000
電話加入権					127,284	127,284
その他固定資産合計	0	0	0	0	4,825,284	4,825,284
固定資産合計	25,308,933	29,510,470	216,948,153	0	24,210,988	295,978,544
資産合計	25,308,933	29,510,470	217,106,640	0	123,398,256	395,324,299
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金						0
前受金					57,303,152	57,303,152
預り金					1,479,891	1,479,891
仮受金					95,000	95,000
流動負債合計	0	0	0	0	58,878,043	58,878,043
2. 固定負債						
退職給付引当金					19,385,704	19,385,704
固定負債合計	0	0	0	0	19,385,704	19,385,704
負債合計	0	0	0	0	78,263,747	78,263,747
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
国際賞受託金			3,779,272			3,779,272
Mukaiyama Award 基金			12,005,311			12,005,311
指定正味財産合計			15,784,583			15,784,583
(うち特定資産への充当額)			(15,784,583)			(15,784,583)
2. 一般正味財産	25,308,933	29,510,470	201,322,057	0	45,134,509	301,275,969
正味財産合計	25,308,933	29,510,470	217,106,640	0	45,134,509	317,060,552
負債及び正味財産合計	25,308,933	29,510,470	217,106,640	0	123,398,256	395,324,299

1. 特定資産の明細

表 1・11 附属明細書

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	編集出版事業特定資産	28,300,208	8,725	3,000,000	25,308,933
	研究会事業特定資産	29,503,931	6,539	0	29,510,470
	表彰事業特定資産	202,367,341	796,229	2,000,000	201,163,570
	国際賞基金	3,512,648	4,000,386	3,733,762	3,779,272
	Mukaiyama Award 基金	13,655,048	1,517	1,651,254	12,005,311
	退職給付引当特定資産	16,381,876	3,003,828	0	19,385,704
	特定資産計	293,721,052	7,817,224	10,385,016	291,153,260

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	16,381,876	3,003,828	0	0	19,385,704

表 1-12 財産目録

平成28年12月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等		使用目的等	金額 (円)
【流動資産】				
預金	振替貯金		運転資金	2,582,201
	普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	64,930,952
	普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	2,240,089
	普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	50,001
	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	運転資金	2,555,457
	普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店	運転資金	144,666
	普通預金	北海道支部	運転資金	3,698,525
	普通預金	東北支部	運転資金	3,915,167
	普通預金	関東支部	運転資金	8,598,988
	普通預金	東海支部	運転資金	2,514,838
	普通預金	関西支部	運転資金	2,459,789
	普通預金	中国四国支部	運転資金	1,738,536
	普通預金	九州山口支部	運転資金	2,911,518
未収収益				244,271
前払金				581,477
立替金				0
仮払金	現金	手元保管	運転資金	179,280
流動資産合計				99,345,755
【固定資産】				
特定資産				
編集事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	2,084,707
	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	3,224,226
	定期預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	10,000,000
	定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	10,000,000
研究会事業特定資産	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	4,510,470
	定期預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	25,000,000
表彰事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	1,690,321
	普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	3,623,249
	定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	5,000,000
	定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
	定期預金	第326回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	100,000,000
	定期預金	東京都公債公債第2回	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	50,000,000
	定期預金	東京都公債公債第1回	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,850,000
退職給付引当資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部		6,025,704
	定期預金	三井住友信託銀行本店営業部		13,360,000
国際賞基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	3,779,272
Mukaiyama Award基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	12,005,311
その他固定資産	差入保証金			4,698,000
	電話加入金			127,284
固定資産合計				295,978,544
資産合計				395,324,299
【流動負債】				
未払金				0
前受金				57,303,152
預り金				1,479,891
仮受金				95,000
流動負債合計				58,878,043
【固定負債】				
退職給付引当金				19,385,704
固定負債合計				19,385,704
負債合計				78,263,747
正味財産				317,060,552

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準および評価方法 満期保有目的債券 償却原価法（定額法）
- (2) 固定資産の減価償却の方法 法人税法に基づき一定額以下は費用処理している。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法
ファイナンスリース：リース物件の所有権が借主に移転するを認められる以外のファイナンスリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理 消費税および地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額およびその残高

特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。(単位：円)

表 1・13 特定資産の増減額およびその残高

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
編集出版事業特定資産	28,300,208	8,725	3,000,000	25,308,933
研究会事業特定資産	29,503,931	6,539	0	29,510,470
表彰事業特定資産	202,367,341	796,229	2,000,000	201,163,570
国際賞基金	3,512,648	4,000,386	3,733,762	3,779,272
Mukaiyama Award 基金	13,655,048	1,517	1,651,254	12,005,311
退職給付引当特定資産	16,381,876	3,003,828	0	19,385,704
合 計	293,721,052	7,817,224	10,385,016	291,153,260

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

表 1・14 特定資産の財源等の内訳

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
編集出版事業特定資産	25,308,933	0	25,308,933	
研究会事業特定資産	29,510,470	0	29,510,470	
表彰事業特定資産	201,163,570	0	201,163,570	
国際賞基金	3,779,272	3,779,272	0	
Mukaiyama Award 基金	12,005,311	12,005,311	0	
退職給付引当特定資産	19,385,704	0	0	19,385,704
合 計	291,153,260	15,784,583	255,982,973	19,385,704

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価および評価損益は、次のとおりである。(単位：円)

表 1・15 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価および評価損益

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債	100,000,000	104,730,700	4,730,700
地方債	70,850,000	70,811,979	▲ 38,021
合 計	170,850,000	175,542,679	4,692,679

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

表 1・16 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

内 容	金 額
経常収益への振替額	
国際賞事業費計上による振替額	3,733,762
Mukaiyama Award 事業費計上による振替額	1,651,254
合 計	5,385,016

第2号議案 平成29年度役員選任の件

本総会の終結をもって役員15名の任期が満了となるので、定款23条に定めるところにより、役員候補者選出委員会において選出された役員候補者(表2)を参考にして、退任役員の後任として新任および重任役員(理事・監事；太字表記15名)を選任する。

表2 平成28年度役員および平成29年度役員候補者対照表

役職区分	平成29年度				
	平成28年度(参考)		新任候補	重任候補	新・重任候補者所属
	退任	留任			
会長	佐藤 幸蔵		吉田 潤一		京都大学
副会長	高井 和彦		山川 一義		富士フイルム(株)
副会長		岩澤 伸治			
副会長		岡田 稔			
常務理事(事務局長)	大籠 祐二		岡村 眞延		有機合成化学協会
理事(編集担当)	大江 浩一		菅 敏幸		静岡県立大学
理事(編集担当)		林 雄二郎			
理事(事業担当)	加藤 昌宏		林 亮司		東レ(株)
理事(事業担当)		砂塚 敏明			
理事	秋山 隆彦			秋山 隆彦	学習院大学
理事	須貝 威		市川 淳士		筑波大学
理事	辻 尚志			辻 尚志	味の素(株)
理事		田上 克也			
理事		佐用 昇			
理事		宮地 克明			
理事		宮田博之			
理事(北海道支部)	澤村 正也		佐藤 美洋		北海道大学
理事(東北支部)		土井 隆行			
理事(関東支部)	内川 治		松村 靖		旭硝子(株)
理事(関東支部)		柳澤 章			
理事(東海支部)	石原 一彰		岩佐 精二		豊橋技術科学大学
理事(関西支部)	松原誠二郎		笹井 宏明		大阪大学
理事(関西支部)		森 敦紀			
理事(中国四国支部)	伊藤 敏幸		宇野 英満		愛媛大学
理事(九州山口支部)		徳永 信			
監事	石原 雄二		加藤 昌宏		中外製薬(株)
監事	小林 進		高井 和彦		岡山大学
監事		味戸 慶一			
人数	15	13	13	2	

第3号議案 名誉会員委嘱の件

定款第5条第5項および名誉会員の委嘱に係る内規2の2に定めに基づき、以下の会員に名誉会員を委嘱する。本案は平成28年12度理事会で名誉会員としての推薦を決議した。

園頭 健吉 氏 (大阪市立大学名誉教授)

平成28年度有機合成化学特別賞受賞 1931年12月5日生(満85歳)

定款第5条第5項

名誉会員はこの法人に特に功労のあった個人で、理事会が推薦し、かつ総会の承認を経たものとする。

名誉会員の委嘱に係る内規2の2

次の各項に該当する者は理事会の推薦および総会の議決により、会長が名誉会員に委嘱する。

- (1) 会長ならびに会長経験者であって、総会開催当日満70歳に達している者
- (2) 本会特別賞受賞者であって、総会開催当日満70歳に達している者
- (3) 本会特別賞受賞者であって、会長経験者
- (4) ノーベル賞またはこれに匹敵する業績を有し、わが国の有機合成化学の発展に寄与した者

【参考】

表4 名誉会員一覧(平成29年2月16日現在、委嘱年月日順)

No.	氏名	勤務先役職 or 称号(委嘱当時)	委嘱年月日	生年月日	会長	特別賞
1	野崎 一	京都大学名誉教授	1993.02.16	1922.01.01	85-86	1992
2	E. J. Corey	ハーバード大学教授	1993.02.16	1928.07.12		
3	向山 光昭	東京大学名誉教授、北里研究所	1995.02.21	1927.01.05	89-90	1993
4	辻 二郎	東京工業大学名誉教授	2000.02.22	1927.05.11		1998
5	野依 良治	理化学研究所理事長	2002.02.19	1938.09.03	97-98	2000
6	吉田 善一	京都大学名誉教授	2003.02.18	1925.08.19		2001
7	森 謙治	東京大学名誉教授	2004.02.18	1935.03.21	93-94	2002
8	鈴木 章	北海道大学名誉教授	2005.02.24	1930.09.12		2003
9	平岡 哲夫	元三共有機合成(株)代表取締役社長	2006.02.23	1935.08.05	03-04	
10	村井 眞二	大阪大学名誉教授	2006.02.23	1938.08.24	01-02	2004
11	村橋 俊一	大阪大学名誉教授	2008.02.20	1937.05.12		2006
12	伊東 椒	東北大学名誉教授	2008.02.20	1924.12.15		2007
13	岸 義人	ハーバード大学名誉教授	2010.02.19	1937.04.13		2009
14	中井 武	東京工業大学名誉教授	2011.02.18	1940.08.30	05-06	
15	根岸 英一	パデュー大学特別教授	2011.02.18	1935.07.14		
16	白濱 晴久	北海道大学名誉教授	2012.02.17	1930.06.28		2011
17	竜田 邦明	早稲田大学名誉教授・栄誉フェロー	2013.02.19	1940.12.01		2012
18	玉尾 皓平	京都大学名誉教授	2014.02.20	1942.10.31		2013
19	山本 尚	シカゴ大学名誉教授	2014.02.20	1943.07.16		2008
20	迫田 良三	元日産化学工業(株)副社長	2014.02.20	1943.08.24	07-08	
21	大村 智	北里大学特別栄誉教授	2015.02.18	1935.07.12		
22	桑嶋 功	東京工業大学名誉教授	2015.02.18	1937.11.11		2015

第4号議案 常勤役員報酬の件

平成29年度の常務理事の報酬総支給額は：

- ✓ 「常勤役員の報酬規程」に従って支給する。
- ✓ 常務理事は会員企業からの出向者で、俸給は原籍企業との折半。俸給総額で上記既定の支給額上限を超えないものとする。旅費・交通費および福利厚生費は本会負担とする。

(参考)

1. 定款第28条

理事及び監事は無報酬とする。ただし常勤の役員については、総会において定める総額の範囲内で総会において別に定める報酬等の支給基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2. 常勤役員の報酬規程 第2条2

年間報酬総支給額(俸給および通勤費の合計額)が1000万円を超えないものとし、人事委員会の議を経て理事会が決定する。

3. 常勤役員の報酬規程 第9条

常勤役員が外部からの出向者であり、出向元との出向契約に報酬に係る取り決めがある場合には、出向契約に定める報酬基準に従う。

その他

議案があれば挙手の上、提議してください。

【報告事項】

報告1 平成28年度事業報告(平成28年1月1日から平成28年12月31日まで)

1. 平成28年度通常総会(第79回)

- ✓ 平成28年2月18日 如水会館にて開催
- ✓ 構成員(代議員)100名中、出席者97名(本人出席24; 代理人出席0; 委任状・書面表決73)
- ✓ 決議事項
 - 第1号議案 『平成27年度決算報告承認』の件
 - 第2号議案 『平成28年度役員選任』の件
 - 第3号議案 『定款変更』の件
 - 第4号議案 『名誉会員委嘱』の件
 - 第5号議案 『常勤役員の報酬』に係る件
- ✓ 報告事項
 - 報告1. 『平成27年度事業報告』
 - 報告2. 『平成28年度事業計画報告』
 - 報告3. 『平成28年度収支予算報告』
 - 報告4. 『永年会員昇格者報告』

2. 会員動向

表5 会員動向

区分		H27末	入会	復活	退会	区分変更		異動計	H28末
普通会員	個人	3,971	70		▲278	97	▲20	▲131	3,840
	法人	211	1		▲3			▲2	209
	団体	3							3
普通会員計		4,185	71		▲281	97	▲20	▲133	4,052
永年会員		205			▲5	20	▲1	14	219
名誉会員		21	1		▲1	1		1	22
学生会員		613	195	1	▲138		▲97	▲39	574
合計		5,024	267	1	425			▲157	4,867

3. 事業報告

平成28年度に実施した編集出版、研究会、および表彰の各事業について、表6のとおり報告する。

公1・編集出版事業(14頁)

公2・研究会事業

シンポジウム

本部(15頁)

北海道支部(15頁)

東北支部(17頁)

関東支部(18頁)

東海支部(19頁)

関西支部(20頁)

中国四国支部(20頁)

九州山口支部(20頁)

講習会

本部(21頁)

関西支部(21頁)

懇談会

本部(22頁)

関東支部(22頁)

東海支部(23頁)

関西支部(24頁)

関西支部(24頁)

中国四国支部(24頁)

九州山口支部(25頁)

公3・表彰事業

有機合成化学特別賞(25頁)

有機合成化学協会賞・奨励賞(25頁)

Mukaiyama Award(26頁)

Lectureship Award(26頁)

企業冠賞(26頁)

高砂香料国際賞「野依賞」(26頁)

支部表彰 関西支部(26頁)

中国四国支部(26頁)

九州山口支部(26頁)

他1・共益事業

ゆうごう会(27頁)

研究企画賞(27頁)

表 6・1 平成 28 年度事業報告 (その 1)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
公 1・編集出版事業	
有機合成化学協会誌	
第 74 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 5,600 部(除く第 11 号)、6,000 部(第 11 号)、総頁数 1,394 普通号 10 回；特集号(第 5 号「有機合成化学とケミカルバイオロジーの接点」；第 11 号 Special Issue in English) 掲載内容：巻頭言 12 頁(12 件)、総説 24(2)、総合論文 776(71)、Review de Debut 24(12)、ラウンジ 12(2)、ケミカルズ覚え書き 12(3)、十字路 11(44)、新しい合成 56(222)、会告・協会記事等 270、広告 165 (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2016 年度分を掲載。	
単行本の編集・出版	
特になし	
公 1 関連会議	
有機合成化学協会誌編集委員会(1/28, 3/17, 5/27, 7/8, 9/30,11/25)	
公 2・研究会事業	
シンポジウム【本部】	
第 109 回有機合成シンポジウム；6/8～6/9 東京工業大学デジタル多目的ホール／コラボレーションルーム - 受賞講演(2 件) - 1. 【平成 27 年度有機合成化学協会賞(技術的なもの)受賞講演】 高選択的連続ハロゲン金属交換反応を特徴とする SGLT2 阻害剤トログリフロジンの効率的合成法の確立 (中外製薬) 村形政利 2. 【企業冠受賞講演：日産化学・有機合成新反応／手法賞】 触媒的プロパルギル位置換反応の開発と不斉反応への展開 (東大院工) 西林仁昭 口頭研究発表 36 件；ポスター発表 33 件 合計 69 件 共催：日本化学会；日本薬学会；日本農芸化学会	256(136)
第 110 回有機合成シンポジウム；11/10～11/11；早稲田大学国際会議場 受賞講演 1 件、特別講演 1 件 1. 【平成 27 年度有機合成化学協会賞(技術的なもの)受賞講演】 選択的 SGLT2 阻害剤ルセオグリフロジンの創製 (大正製薬) 柿沼浩行 2. 【特別講演】 α,β -不飽和カルベン活性種の簡便な発生法とその利用 (東工大理) 岩澤伸治 口頭・ポスター発表 34 件；ポスター発表 16 件 合計 50 件 共催：日本化学会；日本薬学会；日本農芸化学会	209(95)
第 49 回酸化反応討論会；11/12～11/13；徳島大学常三島キャンパス(徳島市) 招待講演 2 件、一般口頭発表 17 件、ポスター発表 41 件 主催・共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会	133(69)
第 46 回複素環討論会；9/26～9/28；金沢歌劇座(金沢市) 一般口頭発表 62 件、ポスター発表 126 件 主催・共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会	454(199)
第 49 回有機金属若手の会・夏の学校；7/11～7/13；東海大学妻恋高原研修センター(群馬県) 招待講演 3 件、依頼講演 7 件、若手講演 3 件、ポスター発表 103 件 主催：近畿化学協会有機金属部会	206(188)
シンポジウム【北海道支部】	
第 28 回万有札幌シンポジウム；7/2；北海道大学 1. 有機反応の系統的な理解と設計に向けた反応経路自動探索法の開発 (北大院理) 前田 理 2. 超ポリフィリンの化学 (京大院理) 大須賀篤弘 3. 多官能性天然物郡の骨格多様化合物 (東京農工大院工) 大栗博毅 4. 生物活性天然物の機能解明を志向した実践的合成研究 (徳島大院医歯薬) 難波康祐 5. A RaPID discovery to pseudo-natural peptides for therapeutic uses (東大院理) 菅裕 明	380(280)

表 6・2 平成 28 年度事業報告 (その 2)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き 6. Salt-free Reduction of Metal Complexes for Generating Catalytically Active Species (阪大院基礎工) 真島和志 以上の 6 名の演者による講演と 23 件のポスター発表 主催：万有札幌シンポジウム組織委員会 共催：北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター、日本化学会北海道支部</p>	
<p>日本化学会北海道支部 2016 年 夏季研究発表会；7/23；室蘭工業大学 特別講演 2 件 1. 固体塩基としての酸化マグネシウム (北海道教育大学函館校) 松橋博美 2. 分子技術 (日本化学会会長・中大総合研究所) 山本 尚 一般講演 117 件 主催：日本化学会北海道支部 共催：日本分析化学会・高分子学会・触媒学会・日本エネルギー学会・石油学会の各北海道支部、日本セラミックス協会東北・北海道支部</p>	213(133)
<p>第 33 回有機合成化学セミナー特別企画「ニセコ有機合成プレセミナー」；9/5；ヒルトンニセコビレッジ 1. パラジウム触媒による <i>o</i>-プロモベンジルアルコールの環化反応を利用した多環芳香族炭化水素の合成 (岡山大基礎研) 岩崎真之 2. ベンズジイン等価体を利用する縮合複素環化合物の収束合成 (阪大院薬) 増田茂明 3. Development of oxidative Heck reaction for derivatizing complex molecules and reactivity study of heteroarenes (九大院薬) Amrita DAS 4. ロジウム触媒を用いたケチミンに対する直接的触媒的不斉アルキル化反応の開発 (九大院薬) 米寄凌平 5. パトラコトキン類縁体の合成と電位依存性ナトリウムチャネルとの相互作用解析 (名大院創薬) 藤間達哉 以上の 5 名の演者による講演</p>	67(28)
<p>第 33 回有機合成化学セミナー；9/6～9/8；ヒルトンニセコビレッジ 1. 動的かつ剛直ならせん高分子をプラットフォームとするキラル触媒創製 (京大院工) 杉野目道紀 2. 動物内での合成化学：生体内合成化学治療 (理研) 田中克典 3. 活性酸素産生阻害 Tetomilast の探索・基礎研究 (大塚製薬創薬化学研究所) 千尋正利 4. New Avenues in Synthesis via Organic Photoredox Catalysis (University of North Carolina) David Nicewicz 5. 炭素-炭素結合形成反応を基盤とする含フッ素化合物の立体および位置選択的合成法の開発 (東工大物質理工) 相川光介 6. スマネンを基盤とするポウル型π共役系分子の合成と機能 (阪大院工) 雨夜徹 7. 革新的な物質活性化法を駆使した新しい触媒的分子変換法の開発 (慶大理工) 河内卓彌 8. 有機ニトロキシラジカルの酸化還元特性を利用した効率的酸化システムの開発 (名大院創薬科学) 澁谷正俊 9. Iron-Catalyzed C-H Bond Activation (東大院理) Ilies Laurean 10. 医薬品のプロセス化学への誘い (日本プロセス化学会会長・同志社女子大) 富岡清 11. The Functionalization of C-H Bonds (Univ. Illinois Urbana-Champaign) M. C. White 12. 北里発の微生物由来天然物の合成と創薬展開 (北里大生命研) 砂塚敏明 13. 生命機能解明をめざしたプローブ分子の創製 (理研) 袖岡幹子 14. ロジウムとアレンの組み合わせを基軸とする新規環構築法 (金沢大院医薬保) 向 智里 15. 有機硫黄化学のルネッサンスから芳香環リフォームへの展開 (京大院理) 依光英樹 以上の 15 名の演者による講演と 86 件のポスター発表 主催：有機合成化学協会北海道支部；共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会 後援：文部科学省科学研究費助成事業新学術領域研究 ◇「高難度物質変換反応の開発を指向した精密制御反応場の創出」；◇「反応集積化が導く中分子戦略：高次生物機能分子の創製」</p>	248(118)

表 6・3 平成 28 年度事業報告 (その 3)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>若手研究者のための有機化学札幌セミナー；11/29；北海道大学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有機ラジカルを用いた化学選択的タンパク質変換法の開発 (東大院薬) 生長幸之助 2. 糖質代謝酵素を活用した糖質の合成 (北大院農) 佐分利 亘 3. 結晶スポンジ法の開発と最近の展開 (北大院工) 猪熊泰英 4. リボソーム合成と翻訳後修飾によるペプチド化合物の生合成 (北大院理) 尾崎太郎 5. 海綿動物由来生物活性物質の探索と生合成研究 (北大院薬) 脇本敏幸 <p>以上の 5 名の演者による講演 主催：有機合成化学協会北海道支部；共催：有機合成化学協会</p>	235(190)
シンポジウム【東北支部】	
<p>第 27 回記念万有仙台シンポジウム；6/25；仙台国際センター</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有機合成の視点で挑む高分子合成 (京大化研) 山子 茂 2. 糖タンパク質の精密化学合成を利用する糖鎖機能の解明 (阪大院理) 梶原康宏 3. ヘリセンオリゴマーの可逆的な非平衡系-平衡系化学反応 (東北大院薬) 山口雅彦 4. すべては全合成から始まる (早大理工研) 竜田邦明 5. 21 世紀の繁栄を支える遷移金属触媒 Transition Metal Catalysts Support 21st Century Prosperity (パデュー大学) 根岸英一 	388(315)
<p>仙台地区春の講演会；5/28；東北大学大学院薬学研究科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ジアステレオ選択的ケタール化反応の応用：やっと終わった Trichodermatide A の不斉全合成」(武蔵野大学) 廣谷 功 2. 「AJIPHASE[®];ペプチド・オリゴ核酸の実用的液相合成技術」(味の素株式会社) 片山 智 3. 「小分子による RNA の構造と機能制御」(阪大) 中谷和彦 	147(112)
<p>化学系学協会東北大会；9/10～9/11；いわき明星大学</p> <p>【特別講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「環境負荷低減を実現するポリグリコール酸(PGA)の開発とエネルギー用途展開」(クレハ総研)佐藤浩幸 2. 「Chem-Station が拓く化学教育の未来」(Chem-Station 代表, 早大) 山口潤一郎 <p>【会長講演】</p> <p>「分子技術」(日本化学会会長、中部大教授、シカゴ大学・名大名誉教授) 山本 尚</p> <p>【有機系講演】</p> <p>有機化学セッション</p> <p>「Synthesis and photophysical properties of environmentally sensitive fluorescent purine nucleosides」(日大工) 齋藤義雄</p> <p>「Development of molecular imaging probes constructed of small molecules, proteins, and nanomaterials」(東北大多元研) 水上 進</p> <p>「Carbon-rich active materials with macrocyclic nanochannels for high-capacity negative electrodes in all-solid-state lithium rechargeable battery」(東北大 WPI-AIMR) 佐藤宗太</p> <p>「芳香族脱プロトン化 C-H 修飾反応の触媒システム開発」(東北大院薬) 根東義則</p> <p>有機化学コロキウム</p> <p>「芳香族分子の特性を活かした動的反応空間を基盤とする機能性分子触媒開発」(東理大工) 今堀龍志</p> <p>「新規 C-H 結合直接変換反応を用いた縮合多環式π共役骨格の構築」(東北大 WPI-AIMR) 金 鉄男</p> <p>「準安定構造から観たπ電子系分子集合体の構造と機能」(千葉大院工) 矢貝史樹</p> <p>「含窒素芳香環構造の新規構築法の開発とアルカロイド全合成への応用」(東北大院薬) 徳山英利</p> <p>その他講演 48 件、ポスター発表 234 件</p> <p>主催・共催：日本化学会；高分子学会；日本分析化学会；化学工学会；電気化学会；日本材料学会の各東北支部；繊維学会東北北海道支部；無機マテリアル学会北部支部</p>	487(283)
<p>福島地区講演会；7/7；日本大学工学部</p> <p>「DNA 構造を基盤とした機能性色素分子の組織化制御と発光センサーへの応用」(兵庫県立大学) 高田忠雄</p> <p>「生命現象を理解するための糖質材料の開発」(日本大学) 小林厚志</p>	58(52)

表 6・4 平成 28 年度事業報告 (その 4)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>第 31 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー ; 11/26 ; 東北大学大学院薬学研究科</p> <ol style="list-style-type: none"> 「オキソアンモニウム塩の新奇反応性の発見と 1,3-シクロアルカジエン類合成への展開」 (東北大院薬) 長澤翔太 「多様なケイ素π電子系化合物合成のための新戦略」(東北大院理) 赤坂直彦 「含ハロゲンフェネチルアミンの Pd 触媒 C(sp²)-H 結合選択的アミノカルボニ化」(東北大院薬) 種田 宏 「プレンステッド塩基触媒による[1,2]-Phospha-Brook 転位を利用したホモエノラト等価体の発生法の開発」(東北大院理) 青木拓磨 「脱水縮合剤を用いる無保護 1,2-アンヒドロ糖の直接合成と酵素的グリコシル化反応」 (東北大院工) 芹澤一成 「アミン類の直接的 N-アルキル化反応における触媒反応系の開発」(山形大院理工) 皆川真規 「非天然トリアゾール連結部を用いたタンパク質翻訳用 mRNA の開発研究」(東北大院理) 鈴木 建 「芳香族・複素環エーテルのロジウム触媒的フッ素化反応」(東北大院薬) 谷井沙織 「パラジウム触媒によるアリルカルバメートの転位を利用したγ-アミノ-α,β-不飽和エステルの合成」 (東北大院理) 鎌田悠仁 「アリルパラジウム中間体を求核剤として用いるアルデヒドの分子内不斉アリル化反応」 (東北大院薬) 川瀬 歩 「プロスタグランジン類の合成研究」(東北大院理) 坂本大輔 	193(159)
シンポジウム【関東支部】	
<p>有機合成化学ミニシンポジウム① ; 4/15 ; 東京理科大学(神楽坂キャンパス)</p> <p>ナノポーラス金属触媒を用いるグリーンな有機合成反応 (東北大原子分子材料科学高等研究機構) 山本嘉則</p>	134(81)
<p>有機合成化学ミニシンポジウム② ; 6/25 ; 東海大学(湘南キャンパス)</p> <ol style="list-style-type: none"> イオン液体を固定相に用いた新規反応場の開発 (東海大理) 小口真一 有機分子触媒を用いた不斉反応の開発 (東京薬大薬) 三浦 剛 遷移金属触媒反応による含フッ素化合物の合成 (理研) 袖岡幹子 	102(89)
<p>有機合成化学ミニシンポジウム③ ; 11/4 ; 千葉大学(西千葉キャンパス)</p> <ol style="list-style-type: none"> 医薬品開発におけるプロセス化学の役割 (中外製薬) 加藤昌宏 有機分子触媒を用いる不斉ハロゲン化反応 (静岡県立大薬) 濱島義隆 遷移金属触媒を用いるカルボキシル化反応の開発 (東工大理) 岩澤伸治 	100(77)
<p>有機合成化学ミニシンポジウム④ ; 10/29 ; 工学院大(八王子キャンパス)</p> <p>講演 4 件、プレバント 1 件 プレバント(学生発表) (工学院大院工) 阪田優希</p> <ol style="list-style-type: none"> アシルシランの光異性化反応を利用する合成化学 (学習院大理) 草間博之 ピロール-イミダゾール系天然物の合成研究 (東京農工大院工) 長澤和夫 多段階有機合成の研究 : II-型ポリケチド生合成経路に魅せられて (東工大理) 鈴木啓介 Catalyzed Nazarov and Nazarov-type Cyclizations (Univ. of Hawaii at Manoa) Marcus A. Tius <p>共催 : 工学院大学生体分子システムセンター</p>	114(96)
<p>第 71 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(農工大シンポジウム) ; 5/14 東京農工大学小金井キャンパス</p> <p>特別講演 2 件</p> <ol style="list-style-type: none"> 理論計算と化学合成の融合による反応開発と物質創製 (東大院薬) 内山真伸 タキソールの合成研究 (慶大理工) 千田憲孝 <p>一般研究発表 81 件 共催 : 日本化学会 ; 日本薬学会</p>	319(223)

表 6・5 平成 28 年度事業報告 (その 5)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>第 72 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新潟シンポジウム) ; 11/26~11/27 新潟薬科大学(新津駅東キャンパス) 特別講演 3 件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然な眠りを誘う不眠症治療薬ロゼレムの創製 (武田薬品工業) 内川 治 2. 糖タンパク質の精密化学合成を利用する糖鎖機能解明 (阪大院理) 梶原康宏 3. 潜在的対称性に注目した生理活性天然物の全合成 (静岡県立大薬) 菅 敏幸 <p>一般研究講演 79 件 共催 : 日本化学会 ; 日本薬学会</p>	238(146)
<p>若手研究者のためのセミナー ; 7/30 ; 東京大学薬学系総合研究棟 2 階講堂 講演 6 件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実用的なペルフルオロアルキル化反応の開発 (理研) 河村伸太郎 2. 多様な天然炭素資源を活用した有用化成品原料を獲得するワンポット変換反応の開拓 (東工大物質理工) 山口 渉 3. NHC 触媒を用いる速度論的光学分割及びモノアシル化反応の開発 (千葉大院理) 鎌野 哲 4. ボロキシン形成反応を利用したかご状分子の創製と DMAP との会合挙動 (東京理大理) 小野公輔 5. 修飾シクロペンタジエニルジウム触媒の創成とその特性を活かした炭素-水素結合官能基化反応の開発 (東工大物質理工) 柴田 祐 6. リアノダンジテルペンの網羅的全合成 (東大院薬) 長友優典 	76(58)
シンポジウム【東海支部】	
<p>有機合成セミナー ; 6/11 ; 静岡県立大学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ポリプロピオネートの新規合成戦略 (早大理工) 細川誠二郎 2. 水銀トリフラート触媒による環化異性化反応を鍵工程としたレバジホルミン類の全合成 (阪市大院理) 森本善樹 3. 生物活性天然物の合成研究 -キラルプール法によるアプローチ- (慶大理工) 千田憲孝 4. 北里発の天然物合成研究 (北里大生命科学研) 砂塚敏明 	81(72)
<p>若手研究者のためのセミナー ; 7/21 ; 三重大学 【支部奨励賞受賞講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毒性ガス等価体を用いる実用性指向型有機合成反応の開発 (静岡県立大薬) 小西英之 2. 力量ある新規フェナントリン不斉配位子を利用する金属触媒反応の多角的研究 (名大院工) 永縄友規 3. 新規 2 型糖尿病治療薬トグリフロジン初期プロセス合成法の開発 (中外製薬) 大竹義仁 <p>【招待講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有機反応の立体化学を触媒で自在に制御する (名大院工) 石原一彰 2. 化学 - 分子と社会を結ぶ架け橋 (東大院理) 中村栄一 	53(41)
<p>第 47 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会 ; 11/5~11/6 ; 豊橋技術科学大学 【特別討論会】 <依頼講演></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キラルピンスー型錯体触媒の合成と不斉反応への応用 (名大院工) 伊藤淳一 2. 新規合成ブロックの創製を基盤とする多環式天然物合成 (名市大院薬) 中村精一 3. 炭素 - ハロゲン結合の立体選択的な形成および切断反応 (豊橋技科大院工) 柴富一孝 <p><招待講演></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 金属協奏反応場の効率設計による分子変換法の開発 (金沢大院工) 宇梶 裕 2. らせん超構造を生み出すコンパクトな有機分子 (千葉大院工) 岸川圭希 <p>共催 : 日本化学会、高分子学会、化学工学会、日本農芸化学会、日本油化学、日本薬学会など</p>	529(307)

表 6・6 平成 28 年度事業報告 (その 6)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>総合講演会；12/17；岐阜大学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 製薬企業における新薬開発(中外製薬の低分子および抗体医薬の創薬研究) (中外製薬) 森川一実 2. 反応集積化と中分子複合糖質合成 (阪大院理) 深瀬浩一 3. ケイ素－水素結合を起点とする炭素－水素結合のケイ素化反応：研究の展開 (岡山大院自然科学) 高井和彦 	80(65)
シンポジウム【関西支部】	
<p>有機合成化学北陸セミナー；10/7～10/8；石川県青少年総合研修センター 【特別講演 3 件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. つる巻き状分子不斉の創出 (神戸大院工) 森 敦紀 2. 分子ひずみの付加と解消を利用する有機合成 (京大院薬) 高須清誠 3. 日本触媒の機能性材料 (日本触媒) 住田康隆 <p>一般研究発表 11 件、ポスター発表 66 件 共催：日本化学会、日本薬学会、金沢大学超然プロジェクト、金沢大学先魁プロジェクト</p>	179(143)
<p>第 36 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」；8/9；京都薬科大学本校地</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 固体状態で高効率発光する分子の発見、設計と応用 (京工織大分子化学) 清水正毅 2. 銅触媒を用いた求電子的アミノ化：“マイナス”を“プラス”にしたら何ができるのか？ (阪大院工) 平野康次 3. ベンザインを実験化学と理論化学の両面から斬る！ (阪大院薬) 井川貴詞 4. 炭素－炭素二重結合の窒素官能基化反応の開発 (阪大院工) 南方聖司 5. Amenity・Health Creative Product 創製への挑戦－アンチエイジングスキンケア素材と化粧品－ (ナールスコーポレーション/元 JAPIC) 松本和男 6. いくつかの天然物の全合成と、それにまつわる話 (京都薬大) 上西潤一 <p>ポスター発表 89 件 共催：日本薬学会</p>	229(164)
シンポジウム【中国・四国支部】	
<p>若手研究者のためのセミナー(第 32 回若手化学者のための化学道場)；8/25～8/26；にぎたつ会館；世話人：林 実</p> <p>【特別指南講演】 私達は何を間違え、何を発見出したのか (九大先導研) 友岡克彦</p> <p>【師範講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『擬似分子内反応』の概念を用いた新規な合成手法の開発 (高知工科大環境理工) 西脇永敏 2. 劇的な反応加速効果と高エナンチオ選択性を示す不斉求核触媒の創製 (岡山大院自然) 萬代大樹 3. 新規骨髄腫治療剤を指向した天然マクロライドの全合成研究 (徳島大院医歯薬) 中山 淳 4. 超強酸 HF・BF₃ を用いた芳香族化学品の製造 (三菱ガス化学) 松浦 豊 5. 高活性な固定化触媒システムの開発 (理研) 山田陽一 6. アゾベンゼン集合体：光異性化と蛍光 (鳥取大院工) 韓 旻娥 7. N-Heteroacene 骨格を基盤とした新規機能性材料の開発 (香川大工) 磯田恭佑 8. ピロールを含む新しいπ電子共役系化合物の開発 (愛媛大院理工) 高瀬雅祥 9. まだまだ見つかるポルフィリノイドの異常反応性：新奇なπ電子骨格を目指して (島根大院総合理工) 鈴木優章 10. リボソーム膜内への有機π分子の導入と膜中での化学反応 (広島大院工) 池田篤志 <p>ポスター発表：42 件</p>	129(102)
シンポジウム【九州・山口支部】	
<p>第 28 回若手研究者のためのセミナー；8/27；九州大学伊都キャンパス</p> <p>特別講演：1 件 招待講演：1 件 受賞講演(ポスター賞)；企業紹介；ポスター発表；世話人：内田竜也(九大基幹教育)</p>	97(53)

表 6・7 平成 28 年度事業報告 (その 7)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
講習会【本部】	
<p>有機合成化学講習会(前期) ; 6/15~6/16 ; 長井記念館長井記念ホール テーマ : 有機合成化学が生み出す新世界—反応開発からもの創りまで— 1. 理論計算と合成化学の融合による反応開発・機能創出 (東大院薬/理研) 内山真伸 2. ニッケルと不飽和化合物だけで組み上げる有機合成 (阪大院工) 生越専介 ※ランチョンセミナー ◇日本電子、◇ロックウッドリチウムジャパン 3. ペプチド化学を基盤とする中分子創薬への展開—低分子薬 Plinabulin から抗体薬物複合体(ADC)創薬への展開— (東京薬大薬) 林 良雄 4. 新規カリウム競合型アシッドブロッカー ボノブラザンフマル酸(タケキャブ®)の創製—究極の酸分泌抑制薬を目指して— (武田薬品工業) 西田晴行 5. 含中員環天然物の合成化学 (早大先進理工) 中田雅久 6. 不斉触媒酸化反応 (中部大総工研分子性触媒研究センター) 山本 尚 7. キラルプレステッド酸触媒を用いた不斉合成 : どこまで使いこなせるか? (東北大院理) 寺田眞浩 8. 安全・簡便・短工程有機合成を指向した Pd 触媒反応 (静岡県立大薬) 眞鍋 敬 9. フッ素化学基幹原料を用いる新しい分子変換反応 (旭硝子) 森澤義富 10. FGFR(Fibroblast Growth Factor Receptor)阻害剤 CH5183284/Debio 1347 の創製 (中外製薬) 海老池啓達 11. 生細胞有機化学によるタンパク質その場解析の分子技術 (京大院工) 濱地 格 12. 分子世界と実世界を結ぶ化学 (東大総括プロジェクト機構/院理) 中村栄一 共催 : 日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会</p>	109(2)
<p>有機合成化学講習会(後期) ; 11/16~11/17 ; 長井記念館長井記念ホール テーマ : 天然物合成と、もの創りの新手法開発 1. 天然物合成を指向した合成法の開発 (慶大理工) 高尾賢一 2. 高度縮環構造をもつ天然物の合成研究 (名大院創薬科学) 横島 聡 ※ランチョンセミナー ◇和光純薬工業 3. ヌクレオシド系天然物の全合成 (北大院薬創薬科学研究教育センター) 市川 聡 4. グアニジン系天然物の合成 (名大院生命農) 西川俊夫 5. 低分子医薬品の時代は終わったのか? — 合成化学者の未来は? — (ペプチドリーム) 舩屋圭一 6. 潜在的対称性に注目した生理活性天然物の全合成 (静岡県立大薬) 菅 敏幸 7. 希土類触媒を用いた有機合成の新展開 (理研) 侯 召民 8. フォトレドックス触媒が拓く新合成戦略 : 基礎から最近の反応例まで (東工大化学生命科学研) 小池隆司 9. 有機イオン触媒の設計と合成化学への応用 (名大院工) 大井貴史 10. 古くて新しい病気『結核』への挑戦—多剤耐性肺結核治療薬デラマニドの研究— (大塚製薬) 佐々木博文 11. ペプチド・オリゴ核酸の新規な効率的合成法 AJIPHASE® の開発と応用 (味の素) 高橋大輔 12. 協働金属触媒による有機合成反応 (京大院工) 中尾佳亮 共催 : 日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会</p>	109(2)
講習会【関西支部】	
<p>有機合成 2 月セミナー「有機合成のニュートレンド 2016」 ; 2/2~2/3 ; 大阪科学技術センター 1. フロン 23(フルオロホルム)を用いたフッ素化合物の合成 (名工大院工) 柴田哲男 2. アルケンの立体化学を制御する—P と S と Si の化学 (岐阜大工) 安藤香織 3. ジハロプロペン殺虫剤ピリダリルの創製およびその展開 (住友化学) 池上 宏 4. 不活性結合の変換を可能にする触媒反応 (阪大院工) 鳶巢 守 5. フラッシュケミストリー フラスコではできない有機合成をめざして (京大院工) 吉田潤一 6. フロキサンによる一酸化窒素のターゲティングをめざして (神戸大院理) 松原亮介 7. 水素原子・ハロゲン原子が創り出す不斉空間・不斉反応 (分子研) 榎山儀恵 8. デヒドロアミノ酸の立体制御と天然物全合成への展開 (阪市大院理) 品田哲郎</p>	167(78)

表 6・8 平成 28 年度事業報告 (その 8)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き</p> <p>9. 人の未来を変える「ものづくり」の原点は人・アイデア・化学～メディシナルケミストリーによるイノベーションの事例～ (大日本住友製薬)中平博之</p> <p>10. 有機合成の視点から挑むペロブスカイト型太陽電池の高効率化 (京大化研) 若宮淳志</p> <p>11. 非交互系・非ベンゼン系芳香族炭化水素の化学の新たな発展 (阪大院基礎工) 戸部義人</p> <p>共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会、近畿化学協会</p>	
<p>有機合成夏期セミナー「明日の有機合成化学」；8/30～8/31；大阪科学技術センター</p> <p>1. 合金ナノクラスター触媒の化学－現代の錬金術－ (阪大院工) 櫻井英博</p> <p>2. ポルフィリン金属錯体をルイス酸触媒として用いる有機合成反応 (京大院工) 倉橋拓也</p> <p>3. 結合切断反応が拓く新しい分子合成技術の開発 (早大理工) 山口潤一郎</p> <p>4. 共有結合型プロテアーゼ阻害剤のデザインと効率的な合成法の開拓 (小野薬品) 今川 昭</p> <p>5. 天然物の骨格を多様化する迅速合成プロセスの開発 (東京農工大院工) 大栗博毅</p> <p>6. ケイ素-水素結合を起点とする炭素-水素結合のケイ素化:研究の展開 (岡山大院自然科) 高井和彦</p> <p>7. 有機硫黄化学のルネッサンスから芳香環リフォームへの展開 (京大院理) 依光英樹</p> <p>8. 水稲用除草剤「メタゾスルフロ」の創製研究 (日産化学) 中屋潔彦</p> <p>9. 軽量化に貢献するナイロンの進化～分子制御から成形法まで (ユニチカ) 上田一恵</p> <p>10. 大村天然物の可能性を引き出す有機合成化学の醍醐味 (北里大北里生命科研) 砂塚敏明</p> <p>11. らせん高分子・超分子を用いた不斉識別材料、不斉合成触媒の開発 (名大院工) 八島栄次</p> <p>共催：日本化学会；日本農芸化学会；日本薬学会；近畿化学協会</p>	112(40)
懇談会【本部】	
<p>2016 新春特別フォーラム；1/14；化学会館・山の上ホテル (本館)</p> <p>※講演の部 「世界に飛躍する日本の科学技術―産学の明日を考える―」</p> <p>1. 新たな顧客価値創造に向けた三井化学の取り組みと有機合成 (三井化学) 諫山 滋</p> <p>2. 日本医療研究開発機構のミッションと展望 (日本医療研究開発機構) 末松 誠</p> <p>※賀詞交換会</p> <p>共催：有機合成化学協会関東支部</p>	136(0)
<p>有機合成化学懇談会；12/3；化学会館</p> <p>企業の若手研究者と交流・討論できる、学生のためのセミナー(第 3 弾)</p> <p>(1) パネラー紹介</p> <p>1. 意外に知られていない(?!)プロセス化学の奥深さ (中外製薬) 永瀬正弘</p> <p>2. 東ソーの有機材料開発 (東ソー)井上貴弘</p> <p>3. 自己紹介と業務紹介～創薬化学研究者の仕事～ (帝人ファーマ) 鎌田大史</p> <p>4. 農薬プロセス研究 15 年 (住友化学) 広田将司</p> <p>5. 受託企業での有機合成研究～私たちの仕事～ (富士フィルムファインケミカルズ) グェン・チュン・タン</p> <p>6. 日々の業務紹介と入社してからの 8 年間 (エーザイ) 福山 尚</p> <p>7. 高砂香料における有機合成化学 (高砂香料工業) 青木邦衛</p> <p>(2) ブース形式懇談会</p>	56(56)
懇談会【関東支部】	
<p>第 14 回有機合成化学談話会(湯河原セミナー)；9/23～9/24；和光純薬工業(株)湯河原研修所</p> <p>講演 4 件</p> <p>1. 糖化学からの展開：切断機構の解明からバイオ医薬品へ (理研) 眞鍋史乃</p> <p>2. フェニテピック創薬でファースト・イン・クラス薬剤を創製する～世界初の S1P 受容体アゴニストと BRD 阻害薬の創製～ (田辺三菱製薬) 安達邦知</p> <p>3. Medicinal chemistry for Drug Discovery (武田薬品) 山田昌美</p> <p>4. 企業と大学における創薬化学―受容体に教えられた立体化学― (帝京大薬) 夏苺英昭</p> <p>【ショートレクチャー】&【ポスターセッション】5 件</p> <p>1. ベンゾマルピン類の軸不斉に基づく立体化学 (帝京大薬) ○荒木拓嗣、田畑英嗣、忍足鉄太、高橋秀依、夏苺英昭</p>	22(4)

表 6・9 平成 28 年度事業報告 (その 9)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き</p> <p>2. <i>N</i>-carbamoyl-5H-dibenz[b,f]azepine の 4 位置換基によるコンホメーションの制御 (帝京大薬) ○金瀬薫、北田岳史、喜田次郎、田畑英嗣、忍足鉄太、夏苺英昭、高橋秀依</p> <p>3. グアニン四重鎖構造の安定化を志向したポリオキサゾール型低分子化合物の合成研究 (東京農工大院工) ○佐々木捷悟、佐久間麻衣、馬悦、長澤和夫</p> <p>4. Arenicolide A の合成研究 (工学院大先進工) ○岩田大昌、砂川晶、内藤美菜子、安井英子、宮下正昭、南雲紳史</p> <p>5. 有機合成化学で見いだすシナプス受容体リガンド (横浜市立大院生命ナノシステム) ○及川雅人、千葉まなみ、板垣ひより、石川裕一</p>	
懇談会【東海支部】	
<p>Prof. Naresh Kumar 訪日学者講演会 ; 1/26 ; 岐阜大学 Bio-inspired synthesis of novel biologically active scaffolds based on flavones and isoflavones (University of New South Wales, Australia) Prof. Naresh Kumar</p>	26(21)
<p>Prof. Dominique Cahard 訪日学者講演会 ; 4/8 ; 名古屋工業大学 Asymmetric Transfer Hydrogenation (ATH) of Prostereogenic Trifluoromethylated Imines, Enones, Ketones, and 1,3-Diketones (Université de Rouen, France) Prof. Dominique Cahard</p>	16(9)
<p>Prof. Zhenlei Song 訪日学者講演会 ; 4/21 ; 名古屋大学 Exploration of Versatile Geminal Bis(silane) Chemistry (West China School of Pharmacy, Sichuan University, China) Prof. Zhenlei Song</p>	86(72)
<p>Prof. Scott E. Denmark 訪日学者講演会 ; 5/23 ; 名古屋大学 Development of Enantioselective Catalysis through Chemoinformatics (University of Illinois at Urbana-Champaign, U.S.A.) Prof. Scott E. Denmark</p>	97(85)
<p>Prof. Shaokui Cao 訪日学者講演会 ; 5/24 ; 三重大学 FROM CHEMISTRY TO MATERIALS -Rational Design and Construction of Functional Materials with Complicated Structure (School of Materials Science & Engineering Zhengzhou University, P. R. China) Prof. Shaokui Cao</p>	49(41)
<p>Assoc. Prof. Mohamed E. Khalifa 訪日学者講演会 ; 6/29 ; 岐阜大学 An Overview of Novel Heterocycles Containing Sulphur and/or Nitrogen Atoms: Synthesis, Characterization and Valuable Applications (Chemistry Department, Faculty of Science, Taif University, Saudi Arabia) Assoc. Prof. Mohamed E. Khalifa</p>	26(21)
<p>Kazunori Koide(小出和則), Ph.D. 訪日学者講演会 ; 7/26 ; 岐阜薬科大学 Palladium Catalysis: Chemosensors, Mechanistic Studies, and Bioorthogonal Chemistry (Associate Professor Department Chemistry, University of Pittsburgh, Pittsburgh, PA, USA) Kazunori Koide(小出和則), Ph.D.</p>	30(6)
<p>Dr. Rong-Jie Chein 訪日学者講演会 ; 10/5 ; 名古屋大学 1. Development of <i>ortho</i>-Directed Methodogy 2. Chiral Tetrahydrothiophene Ligands in Asymmetric Catalysis (Institute of Chemistry, Academia Sinica, Taipei, Taiwan R.O.C.) Dr. Rong-Jie Chein</p>	67(58)
<p>Prof. David Vacic 訪日学者講演会 ; 10/6 ; 名古屋工業大学 Organometallic Aspects of Fluoroalkylation Reactions (David Vacic, Professor and Chair Department of Chemistry, Lehigh University, U.S.A.) Prof. David Vacic, Pf and Chair</p>	27(16)
<p>Prof. Dr. Zhu-Jun YAO 訪日学者講演会 ; 11/25 ; 名古屋大学 Discoveries through Total Synthesis of Natural Hybrid Chlorofusin (Nanjing University, China) Prof. Dr. Zhu-Jun YAO</p>	68(59)

表 6・10 平成 28 年度事業報告 (その 10)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【関西支部】	
有機合成新春講演会；1/20；大阪科学技術センター 1. ヘテロ原子の特性を活用した有機合成反応（神戸薬大）宮田興子 2. 炭素－炭素結合形成のための新方法論（阪府大院理）柳 日馨 3. オリゴピロールの合成研究：特異な構造と機能を求めて（神戸大院理）瀬恒潤一郎 共催：近畿化学協会	112(32)
セミナー“化学千一夜「あすの化学への夢を語ろう」；6/17～6/18；中野 BC(株)／花王(株)有田研修所 1. 地域資源を活用した中野 BC(株)のものづくり（中野 BC）我藤伸樹 2. 見学会 中野 BC(株)〔梅酒蔵ほか〕 3. “堅いパーツから柔らかいシステムを組み上げる” 弱い分子間相互作用が生み出す多様な分子集合体とその性質（阪大院工）焼山佑美 4. 薬理作用を有する複素環化合物の基本骨格合成法の開発研究 放談会「千一夜、四つの物語」（1.千一夜物語/シエラザード；2.セレンディップの三人の王子；3.ある女性化学者の言葉；4. 夜空に輝く星をつかめ！）（東北大院薬）長 秀連 5. 含硫黄芳香族複素環化合物を用いた機能性材料の合成～らせん分子と平面分子～（和歌山大シス工）大須賀秀次 6. 環境にやさしい物づくり！～香料ヘリオフレッシュ®の開発～（宇部興産）吉田佳弘 7. 不飽和化合物をうまいこと官能基化する（京大院工）辻 康之 共催：日本化学会、近畿化学協会	37(6)
懇談会【中国・四国支部】	
第 73 回パネル討論会「有機分子触媒の精密設計に基づく高度分子変換」(第 1 回幹事会・懇話会合同会議)；5/21；岡山大学；世話人：坂倉 彰 1. 有機分子触媒としてのフラビン分子の可能性（徳島大院理工）今田泰嗣 2. 水素結合を活用した触媒設計と不斉合成反応（京大院薬）竹本佳司	125(81)
第 74 回パネル討論会「次世代を切り拓く全合成研究の若い力」；10/1；徳島大学；世話人：難波康祐 1. アミド変換反応の開発と天然物合成の効率化（慶大院理工）佐藤隆章 2. 有機合成化学を基盤とした生物活性天然物の構造解明（岡山大院自然）高村浩由 3. N-S アシル基転移反応を基盤としたタンパク質完全化学合成法の開拓（徳島大院医歯薬・JST さきがけ）重永 章 4. 含窒素多環式天然物の合成研究（名大院創薬）横島 聡	117(88)
来日学者講演会；5/19；愛媛大学；世話人：宇野英満 Enzymatic Halogenation (Bielefeld University, Germany) Norbert Sewald	35(30)
来日学者講演会；5/20；広島大学；世話人：大下浄治 Synthesis of Cytotoxic Drug Conjugates for Targeted Delivery (Bielefeld University, Germany) Norbert Sewald	24(19)
来日学者講演会；5/21；岡山大学；世話人：依馬 正 1. Lithium or Nickel in Carbometallation: Make Your Choice (Rouen-Normandy University, France) Muriel Durandetti 2. Synthesis of Fluorescent or Bioactive Azaphilones (Rouen-Normandy University, France) Xavier Franck	125(81)
来日学者講演会；8/8；岡山大学；世話人：西原康師 Iron-Catalyzed Oxidative Reactions of Aldehydes with Alkenes (Renmin University of China, China) Zhiping Li	23(16)
第 13 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム・第 8 回日露セミナー；12/10～12/11；広島大学 世話人：相田美砂子(ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会) 口頭発表：30 件 主催：ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会	80(56)

表 6・11 平成 28 年度事業報告 (その 11)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【九州・山口支部】	
第 53 回化学関連支部合同九州大会；7/2；北九州国際会議場(北九州市) 化学関係九州支部(共催)；担当：日本分析化学会九州支部 特別講演 1 件；招待講演 8 件；ポスター発表	約 700 有機合成 115
第 1 回有機合成化学講演会；4/22；九州大学馬出キャンパスコラポステーション 招待講演 3 件；世話人：谷文都(九大先導研)	56(20)
外国人特別講演会；7/13；九州工業大学戸畑キャンパス Prof. Jean-Paul. Desaulniers；担当：岡内辰夫	34(30)
外国人特別講演会；10/24；九州大学筑紫キャンパス Synthesis of Chiral Nitrogen-Containing Compounds via Rh-Catalyzed Asymmetric Transformations (Prof. Hsyueh-Liang Wu)；担当：友岡克彦(九大先導研)	81(66)
見学会 今年度は実施せず	
公 2 関連会議	
有機合成化学協会事業委員会(3/7,5/12,7/7,9/29,11/30) 平成 28 年度(秋季)有機合成化学講習会企画委員会；5/12 平成 29 年度(春季)有機合成化学講習会企画委員会；11/11 第 109 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；3/7 第 110 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；7/7	
公 3. 表彰事業	担当機関
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)	
理事による候補者推薦；6～8 月郵便による投票	理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考；10/5；化学会館 ● 園頭健吉(大阪市立大学名誉教授) 業績：遷移金属アセチリド錯体の研究と共役アセチレン合成触媒の開発 表彰式・受賞講演(平成 29.2/16)	賞選考 委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞：2 件；奨励賞：5 件採択)	
各支部推薦委員会；～7 月	
奨励賞書面審査；7 月；郵便	
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会；10/4～10/5；化学会館	
有機合成化学協会賞(学術的なもの) 技術的なものは本年度該当なし ● 伊藤幸成(理化学研究所) 業績：複合糖質の機能解明をめざす高選択的・高効率合成法の開発 ● 袖岡幹子(理化学研究所) 業績：遷移金属触媒反応の開発と含フッ素化合物合成への展開 有機合成化学奨励賞 ● 岡野健太郎(神戸大学) 業績：新規合成方法論の開発を基盤とする含窒素高次縮環天然物の全合成 ● 佐藤隆章(慶應義塾大学) 業績：反応性制御素子を用いたアミド変換反応の開発と応用 ● 清水宗治(九州大学) 業績：フタロシアニンを基盤としたπ共役系の構築と機能発現 ● 高橋大介(慶應義塾大学) 業績：糖質の精密合成・機能解析・機能制御分子の創製に関する研究 ● 布施新一郎(東京工業大学) 業績：サイト選択的反応の開発と多官能基性化合物合成への展開 表彰式(平成 29.2/16) 受賞講演：協会賞(平成 29.2/16) 奨励賞(平成 29.9/12～14)	賞選考 委員会

表 6・12 平成 28 年度事業報告 (その 12)

事業の名称および事業の概要	担当機関
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)	
<p>Mukaiyama Award 委員会 ; 2017 受賞者選考委員会 8/12</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中尾佳亮(京都大学) The development of novel reactions through C-H and C-C functionalization by cooperative metal catalysis. ● Prof. Frank Glorius(Westfälische Wilhelms-Universität Münster) Diverse pioneering contributions with N-heterocyclic carbenes (in organocatalysis, transition metal catalysis and on-surface chemistry), in the field of C-H activation chemistry and in the development of smart screening methods. <p>2015 年度受賞者の表彰式・受賞講演 ; 平成 27.9/16 2016 年度受賞者の表彰式・受賞講演 ; 平成 28.9/6~8</p>	Mukaiyama Award 委員会
Lectureship Award	
<ul style="list-style-type: none"> ● Prof. David Nicewicz (University of North Carolina at Chapel Hill, U.S.A.) New Avenues in Synthesis via Organic Photoredox Catalysis <p>表彰式・受賞講演 ; 平成 28.9/6~8</p>	北海道支部
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 3 件採択)	
<p>第一三共「創薬有機化学賞」書面審査(郵便 ; ~11/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大森 建(東京工業大学) 業績 : 高次構造を有するフラボノイド系ポリフェノールの合成研究と機能開拓 <p>日産化学「有機合成新反応/手法賞」書面審査(郵便 ; ~11/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 荒井孝義(千葉大学) 業績 : 多様性窒素配位子-金属不斉触媒のテーラーメイド開発による複雑系キラル分子の創製 <p>富士フイルム「機能性材料化学賞」書面審査(郵便 ; ~11/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 伊藤 肇(北海道大学) 業績 : 機械的刺激を感知する分子ドミノ相転移型発光性金錯体 	企業冠賞 選考委員会
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
<p>野依賞委員会 ; 選考委員会 8/12</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 丸岡啓二 (京都大学) Design of Chiral High-Performance Organocatalysts for Asymmetric Catalysis <p>表彰式・受賞講演 ; 平成 29.2/16</p>	野依賞 委員会
支部表彰	
<p>【関西支部】 第 14 回関西支部賞受賞講演会 ; 11/21 ; 大阪科学技術センター</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. σ-アリルパラジウム中間体形成を基軸とする革新的分子変換法の開発 (富山大院理工) 堀野良和 2. 合成化学と生化学手法の相補的優位性を活かした新規バイオ触媒反応システムの開発 (奈良先端大) 松尾貴史 3. 生理活性物質を指向した有機フッ素化合物の合成 (摂南大薬) 安藤 章 <p>共催 : 近畿化学協会</p>	58(1)
<p>【中国・四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」 ; 11/19 ; 広島大学(第 2 回幹事会・懇話会合同会議) ; 世話人 : 灰野岳晴</p> <p>【支部奨励賞受賞講演】 塩メタセシス反応を用いた効率的触媒反応系の構築と機能性分子探索への応用 (徳島文理大薬) 山本博文</p> <p>【特別招待講演】 キラルプレンステッド酸ならびに塩基の化学 : そのきっかけから最近の試みまで (東北大院理) 寺田真浩</p>	55(28)
<p>【九州・山口支部】 第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式 ; 11/17 ; 九州大学伊都キャンパス ; 受賞講演等 第 26 回万有福岡シンポジウム ; 4/23 ; 九州大学馬出キャンパス百年講堂 ; 支部ポスター賞 (2 名)</p>	120(98)

表 6・13 平成 28 年度事業報告 (その 13)

事業の名称および事業の概要	参加者数 担当機関
他 1・共益事業	
ゆうごう会	
第 18 回ゆうごう会 ; 5/25 ; King of Kings(大阪市) 講演 1 件 日本、世界産業界の現状と放言御免 I & C・ケムテック) 谷口正俊	17(0)
第 19 回ゆうごう会 ; 6/22 ; 化学会館 講演 1 件 真実を知るのは簡単ではない ―フェロモン研究を中心に― (東洋合成工業/日本学士院会員/東大名誉) 森 謙治	23(0)
第 20 回ゆうごう会 ; 11/4 ; 化学会館 講演 2 件 1.有機合成から食品科学への歩み ~β-glucan の今日的意義 (日本総合技術研究所) 東海林義和 2.有機合成徒然草 : 有機合成化学の歴史と役割を考える (東工大名誉) 中井 武	21(0)
研究企画賞	
研究企画賞選考委員会 ; 11/24 ; 化学会館 ; 24 件採択	
<ul style="list-style-type: none"> ● 旭化成ファーマ研究企画賞:杉本健士(富山大学) 自在な官能基導入を実現する金オートタンデム触媒作用による 1,4-ジヒドロピリジンの de novo 合成 ● 味の素研究企画賞:浅原時泰(大阪大学) 二官能基化 N-アシルイミンを用いたα-アミノ酸のユニバーサル不斉合成法の開発 ● ADEKA 研究企画賞:野田秀俊(微生物化学研究所) 先駆的分子認識触媒の精密設計に基づくアミド結合切断反応の開発 ● カネカ研究企画賞:小林祐輔(京都大学) チオ尿素とハロゲン結合供与体による反応場構築を基盤としたアミドの直截的 N-グリコシル化反応の開発 ● コニカミルタ研究企画賞:臼井一晃(九州大学) 結晶構造と機能に着目した蛍光性ヘリセン分子の設計と精密合成 ● 塩野義製薬研究企画賞:猪熊 翼(徳島大学) ペプチドへの直接的不斉マンニツヒ反応を基盤とする新規効率的な中分子合成法の開発 ● 昭和電工研究企画賞:岩本貴寛(京都大学) 光反応を利用した革新的光学活性アミノ酸合成 ● セントラル硝子研究企画賞:荻原陽平(東京理科大学) 炭素-フッ素共有結合のアルキンに対する触媒的付加反応への挑戦 ● 第一三共研究企画賞:齊藤竜男(東京大学) 2 種の遷移金属触媒間の相互作用を利用したドミノ型分子変換反応の開発 ● 大正製薬研究企画賞:野口吉彦(北里大学) 顧みられない熱帯病 ; アフリカ睡眠病制圧を目指した抗寄生虫活性を示す新規マクロライド類の合成と創薬研究 ● ダイセル研究企画賞:西内智彦(大阪大学) 密接したアントラセン二量体の光と熱によるキラル情報リライタブル材料の開発 ● 高砂香料工業研究企画賞:津留崎陽大(大阪府立大学) 電子受容性ジホスフェン配位子の開発と高活性触媒的環化反応への展開 ● 田辺三菱製薬研究企画賞:武田紀彦(神戸薬科大学) N-アルコキシラクタムの潜在的求核性を利用した付加-環縮小反応の開発 ● 中外製薬研究企画賞:橋本 徹(横浜国立大学) 不斉イオン対型鉄錯体の創製と不斉クロスカップリング反応の開発 ● 帝人ファーマ研究企画賞:落合秀紀(理化学研究所) Late-stage における多彩な誘導体化を指向したカルボン酸の形式的脱炭素ホウ素化反応の開発 ● 東ソー研究企画賞:石田直樹(京都大学) 光エネルギーを駆動力とする二酸化炭素固定化反応 ● 東レ研究企画賞:江上寛通(静岡県立大学) アルキルアミン誘導体の選択的 C-H フッ素化反応の開発 ● 日産化学工業研究企画賞:中村貴志(筑波大学) 剛直な環状骨格を有する多重修飾シクロデキストリンの合成と分子認識場の創出 	研究企画賞 選考委員会

表 6・14 平成 28 年度事業報告 (その 14)

事業の名称および事業の概要	担当機関
<ul style="list-style-type: none"> ● 日本触媒研究企画賞:戸田泰徳(信州大学) 新規イオン性求核触媒としてのホスホニウムベタインの設計開発 ● 富士フイルム研究企画賞:堀部貴大(名古屋大学) エナンチオ選択的ラジカルカチオン Diels-Alder 反応及び[2+2]環化反応の開発 ● 三井化学研究企画賞:西本能弘(大阪大学) 芳香環-金属間の拡張空軌道に基づく革新的アルミニウム触媒の合成と不活性 C-O 結合開裂反応の開発 ● 三菱化学研究企画賞:松本健司(徳島文理大学) 不均一系酸素酸化による触媒的芳香環直接官能基化反応の開発と応用 ● Meiji Seika ファルマ研究企画賞:清川謙介(大阪大学) ホウ素化合物を用いる位置および立体選択的シアノ化反応の開発 ● 和光純薬工業研究企画賞:廣戸 聡(名古屋大学) 窒素ドーブラフエンナリボンの精密合成法の開発 	研究企画賞 選考委員会
法人運営関連会議	
本部関連	
第 79 回通常総会(定期社員総会 ; 2/18)	
運営委員会・理事会(1/29, 2/18,4/14, 6/17, 9/16, 12/12)	
財務・予算委員会(9/16) ; 第一分科会(事業)・第二分科会(表彰) (4/14, 6/17, 9/16, 12/12,1/27)	
平成 29 年度役員候補者選出委員会(10/21)	
支部関連 【北海道支部】	
第 33 回有機合成化学セミナー 第 2 回実行委員会 ; 4/28 ; 北海道大学	
1. 実行委員の選出について ; 2. プログラムについて ; 3. 各会場の確認について ; 4. 予算案について ; 5. プレセミナー企画について ; 6. 参加者勧誘について ; 7. 実行委員会の役割分担について ; 8. 今後の計画について	
第 33 回有機合成化学セミナー 第 3 回実行委員会 ; 7/2 ; 北海道大学	
1. 参加者登録状況と今後の勧誘について ; 2. 予算案について ; 3. 実行委員の役割について ; 4. プログラムと座長について ; 5. チャーターバスとプレセミナーについて ; 6. 学生アルバイトについて ; 7. 今後の計画について	
支部役員会 ; 11/29 ; 北海道大学	
1. 支部規定の制定について ; 2. 奨励賞の支部推薦制度の変更について ; 3. 今後の役員会の開催方法について ; 4. 有機合成化学セミナーの報告 ; 5. 平成 28 年度支部の活動と予算の執行状況について ; 6. 第 111 回有機合成シンポジウム(岡山開催)の開催について	
支部関連 【関東支部】	
常任幹事会(4/15,7/13,10/14,12/21)	
支部幹事会(4/15,10/14)	
談話会(湯河原セミナー)企画委員会 ; 3/18 ; 化学会館	
支部奨励賞推薦委員会 ; 7/13 ; 化学会館	
新潟シンポジウム世話人会・新潟地区幹事会合同会議 ; 11/26	
支部関連 【九州・山口支部】	
事務引継会 ; H27.12/1 ; 九州大学伊都キャンパス(参加者 : H27/28 幹事執行部、相談役、監査、事務局員)	
支部各賞選考委員会 ; 4/22 ; 九州大学馬出キャンパスコラボステーション	
奨励賞・優秀論文賞・技術賞候補者によるプレゼンテーションのヒアリング ; 支部各賞選考委員(7 名)	
第 1 回幹事会 ; 4/22 ; 九州大学馬出キャンパスコラボステーション	
議題 : 平成 27 年度事業・決算報告 ; 平成 28 年度事業計画・予算案他	
第 2 回幹事会 ; 11/17 ; 九州大学伊都キャンパス	
議題 : 平成 28 年度中間事業・会計報告 ; 平成 29 年度事業計画・予算案他 ; 担当 : 谷文都(九大先導研)	

業報告附属明細書

平成 28 年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

報告 2 平成 29 年度事業計画

平成 29 年度の編集・出版、研究会および表彰の各事業計画について、以下のとおり報告する。

表 7-1 平成 29 年度事業計画 (その 1)

事業の名称および事業の概要	主催	共催
公 1・編集出版事業		
有機合成化学協会誌		
75 巻第 1~12 号(12 冊)、発行部数 5,800 部/月、年間総ページ 1,600 普通号 10 回; 特集号 2 回 第 5 号「キラリティー研究の最前線 - 合成、機能と反応-」 第 11 号 Special Issue in English	本部	
単行本の編集・出版		
随時	本部	
公 1 関連会議		
有機合成化学協会誌編集委員会(日時未定; 6 回)	本部	
出版委員会(日時未定; 3 回)		
公 2・研究会事業		
シンポジウム		
第 111 回有機合成シンポジウム; 6/8~6/9; 岡山大学 50 周年記念館	本部	
第 112 回有機合成シンポジウム; 12/5~12/6; 早稲田大学国際会議場	本部	
第 50 回酸化反応討論会	他学会	本部
第 47 回複素環化学討論会	他学会	本部
第 52 回有機反応若手の会	他学会	本部
第 50 回有機金属若手の会	他学会	本部
北海道支部 2017 年度研究発表会; 日時・場所未定	北海道支部	万有財団
若手研究者のための有機化学札幌セミナー; 11 月; 場所未定	北海道支部	
仙台地区春の講演会; 5 月または 6 月; 場所未定	東北支部	
仙台セミナー賞受賞者への有機合成シンポジウム参加支援事業; 6 月	東北支部	
岩手地区講演会; 日時・場所未定	東北支部	
若手研究者のための仙台セミナー; 11 月または 12 月; 場所未定	東北支部	
化学系学協会東北支部大会; 9 月	他学会	東北支部
有機化学コロキウム; 9 月	他学会	東北支部
第 73 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(メジロシンポジウム); 5/20 学習院大学	関東支部	
第 74 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新潟シンポジウム) 11/18~11/19; 新潟大学五十嵐キャンパス	関東支部	
有機合成化学ミニシンポジウム①; 4/14; 東京理科大学記念講堂	関東支部	
有機合成化学ミニシンポジウム②; 6 月; 東海大学	関東支部	
有機合成化学ミニシンポジウム③; 11 月; 千葉大学	関東支部	
有機合成化学ミニシンポジウム④; 日時未定; 工学院大学	関東支部	
若手研究者のためのセミナー; 日時未定; 東京大学薬学系総合研究棟 2 階講堂	関東支部	
有機合成セミナー; 6 月; 岐阜大学	東海支部	
有機合成化学総合講演会; 12 月; 豊橋技術科学大学	東海支部	
若手研究者のためのセミナー; 7 月; 信州大学	東海支部	
第 48 回中化連秋季大会; 11/11~11/12; 岐阜大学	東海支部	
第 48 回中化連秋季大会特別討論会; 11/11~11/12; 岐阜大学	東海支部	
第 37 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」 (若手研究者のためのセミナー); 8/9; 同志社大学	関西支部	

表 7-2 平成 29 年度事業計画 (その 2)

事業の名称および事業の概要		主催	共催
第 34 回有機合成化学セミナー ; 9/12~9/14 金沢市文化ホール・金沢ニューグランドホテル		関西支部	本部
有機合成北陸セミナー<福井> ; 日時未定 ; 港のホテル		関西支部	
若手研究者のためのセミナー(第 33 回若手化学者のための化学道場) 世話人 : 鳥取大学 ; 日時・場所未定		中国四国支部	
第 29 回若手研究者のためのセミナー ; 8 月 ; 九州大学伊都キャンパス		九州山口支部	
講習会			
平成 29 年度前期有機合成化学講習会 ; 6/14~6/15 ; 日本薬学会館		本部	
平成 29 年度後期有機合成化学講習会 ; 11/15~11/16 ; 日本薬学会館		本部	
有機合成 2 月セミナー“有機合成のニュートレンド 2017” 2/1~2/2 日 ; 大阪科学技術センター		関西支部	
懇談会			
有機合成化学懇談会 ; 日時・場所未定		本部	
2017 新春特別フォーラム ; 1/18 ; 化学会館 / 山の上ホテル		本部	関東支部
企業の若手研究者と交流・討論できる学生のためのセミナー ; 日時・場所未定		本部	
来日化学者講演会 ; 随時		北海道支部	
来日化学者講演会 ; 随時		東北支部	
有機合成化学談話会 ; 9/22~9/23 ; 和光純薬湯河原研修所		関東支部	
訪日学者講演会 ; 10 件 ; 日時・場所未定		東海支部	
有機合成新春講演会 ; 1/25 ; 大阪科学技術センター		関西支部	
セミナー化学千一夜“明日の化学への夢を語ろう” 6/23~6/24 ; SPring8・志んぐ荘		関西支部	
第 75 回パネル討論会 ; 5 月 ; 広島大学		中国四国支部	
第 76 回パネル討論会または有機合成ミニシンポジウム 2017 ; 日時・場所未定		中国四国支部	
来日学者講演会 ; 5 件 ; 随時		中国四国支部	
第 56 回有機電解合成公開セミナー ; 日時未定 ; 岡山大学		他学会	中国四国支部
第 14 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム ; 日時未定 ; 広島大学		他学会	中国四国支部
第 1 回有機合成化学講演会 ; 6/2 ; 九州大学馬出キャンパスコラボステーション		九州山口支部	
第 54 回化学関連支部合同九州大会 7/1 ; 北九州国際会議場		電気化学会	九州山口支部
来日学者講演会 ; 最大 4 件		九州山口支部	
見学会			
有機合成見学会 ; 日時・場所未定		本部	
見学会 ; 11 月 ; 詳細未定		九州山口支部	
公 2 関連会議			
事業委員会 ; 日時未定 ; 5 回		本部	
有機合成化学シンポジウムプログラム編成会議 ; 2 回		本部	
公 3. 表彰事業		担当機関	
有機合成化学特別賞関連			
理事による予備投票 ; 6~8 月郵便		理事会	
委員会による選考 ; 10/4~10/5		協会賞等選考委員会	
有機合成化学協会賞・奨励賞関連			
各支部推薦委員会 ; ~7 月		各支部	
協会賞(技術)・奨励賞書面審査 ; 7 月 ; 郵便		協会賞等選考委員会	
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会 ; 10/4~10/5		協会賞等選考委員会	
Mukaiyama Award 関連会議			
Mukaiyama Award 委員会(選考委員会)		Mukaiyama Award 委員会	

表 7・3 平成 29 年度事業計画 (その 3)

事業の名称および事業の概要	担当機関
企業冠賞関連	
第一三共「創薬有機化学賞」書面審査(郵便)	左記選考委員会
日産化学工業「有機合成新反応/手法賞」書面審査(郵便)	左記選考委員会
富士フイルム「機能性材料化学賞」書面審査(郵便)	左記選考委員会
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
野依賞委員会	野依賞委員会
支部表彰	
支部奨励賞選考・表彰(予定)	東北支部
第 15 回支部賞授賞講演会(日時・場所未定)	関西支部
有機合成化学特別講演会(支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会) (11 月; 岡山大学)	中国四国支部
支部各賞選考委員会(6 月 2 日; 九州大学馬出キャンパスコラボレーション)	九州山口支部
第 27 回万有福岡シンポジウム(6 月 3 日; 九州大学馬出キャンパス百年講堂)	九州山口支部
第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式(11 月; 場所未定)	九州山口支部
他 1 (共益事業)	
技術アドバイザー事業	本部
ゆうごう会(日時・場所未定)	本部
海外視察団派遣(日時・場所未定)	本部
研究企画賞	
研究企画賞選考委員会	研究企画賞選考委員会

報告 3 平成 29 年度収支予算

平成 29 年度予算を表 8・1～8・5 に示す。従来との主な差は以下の通り。

- 1) 平成 29 年度の費用には常務理事の退職慰労金が発生する。
- 2) 新任の常務理事・事務局長が会員企業からの出向者であるため、俸給が原籍企業と折半となった。そのため常務理事俸給は前年度比で約 500 万円削減される。

表 8・1 平成 29 年度正味財産増減予算書

平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日まで

科 目	平成29年度 A	【参考】平成28年度		増減 A-B	増減 A-C
		予算 B	決算 C		
1 【一般正味財産増減の部】	A	B	C	D	E
2 1. 経常増減の部					
3 経常収益計	132,971,124	136,423,250	141,285,711	▲ 3,452,126	▲ 8,314,587
4 特定資産運用益					
5 特定資産受取利息	798,000	849,000	815,390	▲ 51,000	▲ 17,390
6 受取会費					
7 正会員費受取会費	68,579,274	71,476,500	71,280,430	▲ 2,897,226	▲ 2,701,156
8 事業収益	53,814,000	53,958,000	57,549,634	▲ 144,000	▲ 3,735,634
9 編集出版事業収益	15,630,000	15,488,000	16,326,797	142,000	▲ 696,797
10 研究会事業収益	32,834,000	34,170,000	37,322,837	▲ 1,336,000	▲ 4,488,837
11 表彰事業収益	5,350,000	4,300,000	3,900,000	1,050,000	1,450,000
12 受取寄付金					
13 受取寄付金	6,660,000	6,700,000	6,848,516	▲ 40,000	▲ 188,516
14 雑収益	3,119,850	3,439,750	4,791,741	▲ 319,900	▲ 1,671,891
15 受取利息	9,850	9,750	7,111	100	2,739
16 雑収益	100,000	100,000	1,507,930	0	▲ 1,407,930
17 懇親会参加料収益	3,010,000	3,330,000	3,276,700	▲ 320,000	▲ 266,700
18 経常費用計	136,844,433	138,503,800	138,002,582	▲ 1,659,367	▲ 1,158,149
19 事業費および管理費	136,844,433	138,503,800	138,002,582	▲ 1,659,367	▲ 1,158,149
20 編集出版事業費	26,240,855	27,210,215	26,083,745	▲ 969,360	157,110
21 研究会事業費	30,113,573	32,738,073	32,109,642	▲ 2,624,500	▲ 1,996,069
22 表彰事業費	12,000,407	10,807,637	10,109,464	1,192,770	1,890,943
23 給料手当	28,654,980	30,590,000	31,544,107	▲ 1,935,020	▲ 1,935,020
24 アルバイト費	2,410,000	2,400,000	2,641,050	10,000	▲ 231,050
25 退職給付費用	2,300,000	2,300,000	3,003,828	0	▲ 703,828
26 退職金支出	3,480,000			3,480,000	3,480,000
27 その他人件費（福利厚生費）	6,237,118	6,455,000	6,472,380	▲ 217,882	▲ 235,262
28 会議費	1,675,000	1,870,000	947,920	▲ 195,000	727,080
29 旅費交通費	3,805,000	3,795,000	3,379,353	10,000	425,647
30 通信費	1,356,000	1,346,000	1,267,647	10,000	88,353
31 什器備品費	170,000	167,000	181,440	3,000	▲ 11,440
32 事務用品・リース費	1,900,000	1,900,000	2,069,189	0	▲ 169,189
33 水道光熱費	290,000	290,000	260,645	0	29,355
34 事務所賃借料	4,367,000	4,367,000	4,367,520	0	▲ 520
35 諸謝金(管理費にのみ計上)	1,100,000	1,100,000	1,095,552	0	4,448
36 懇親会費(管理費にのみ計上)	6,000,000	6,225,000	6,683,803	▲ 225,000	▲ 683,803
37 雑費（税・手数料・会費・IT）	4,744,500	4,942,875	5,785,297	▲ 198,375	▲ 1,040,797
38 評価損等調整前当期増減額	▲ 3,873,309	▲ 2,080,550	3,283,129	▲ 1,792,759	▲ 7,156,438
39 2. 経常外増減の部					
40 経常外収益	0	0	0	0	0
41 経常外費用	0	0	0	0	0
42					
43 一般正味財産期首残高	301,275,969	297,992,840	297,992,840	3,283,129	3,283,129
44 一般正味財産期末残高	297,402,660	295,912,290	301,275,969	1,490,370	▲ 3,873,309
45 【指定正味財産増減の部】					
46 特定資産運用益計（高砂香料国際賞「野依賞」）	4,000,400	4,001,200	4,000,386	▲ 800	14
47 特定資産受取利息	400	1,200	386	▲ 800	814
48 受取寄付金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	0
49 一般正味財産への振替額	▲ 4,000,000	▲ 4,000,000	▲ 3,733,762	0	▲ 266,238
50 当期指定正味財産増減額	400	1,200	266,624	▲ 800	▲ 265,424
51 指定正味財産期首残高	3,779,272	3,512,648	3,512,648	266,624	266,624
52 指定正味財産期末残高	3,779,672	3,513,848	3,779,272	265,824	400
53 特定資産運用益計（Mukaiyama Award）	1,500	2,800	1,517	▲ 1,300	▲ 17
54 特定資産受取利息	1,500	2,800	1,517	▲ 1,300	▲ 17
55 受取寄付金	0	0	0	0	0
56 一般正味財産への振替額	▲ 1,600,000	▲ 1,600,000	▲ 1,651,254	0	51,254
57 当期指定正味財産増減額	▲ 1,598,500	▲ 1,597,200	▲ 1,649,737	▲ 1,300	51,237
58 指定正味財産期首残高	12,005,311	13,655,048	13,655,048	▲ 1,649,737	▲ 1,649,737
59 指定正味財産期末残高	10,406,811	12,057,848	12,005,311	▲ 1,651,037	▲ 1,598,500
60 【正味財産期末残高】					
61 正味財産期末残高	311,589,143	311,483,986	317,060,552	105,157	▲ 5,471,409

表 8.2 平成 29 年度正味財産増減予算書内訳表(1 / 4)
(平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日まで)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	共 通	合 計
	公 1 編集・出版	公 2 研究会	公 3 表 彰	公益事業共通			
【一般正味財産増減の部】 1. 経常増減の部							
経常収益計	15,638,000	31,330,000	10,580,000	53,231,233	5,352,187	16,839,705	132,971,125
特定資産運用益	8,000	6,000	780,000		0	4,000	798,000
編集出版特定資産受取利息	8,000						8,000
研究会特定資産受取利息		6,000					6,000
表彰特定資産受取利息			780,000				780,000
退職特定資産受取利息						4,000	4,000
受取会費				53,231,233	1,632,187	13,715,855	68,579,274
個人会員費受取会費				28,606,288	877,132	7,370,855	36,854,274
法人会員費受取会費				22,300,226	683,774	5,746,000	28,730,000
団体会員費受取会費				124,192	3,808	32,000	160,000
学生会員費受取会費				2,200,527	67,473	567,000	2,835,000
事業収益	15,630,000	30,264,000	4,200,000		3,720,000		53,814,000
編集出版事業収益	15,630,000						15,630,000
会誌事業収益	4,600,000						4,600,000
広告事業収益	9,300,000						9,300,000
別冊事業収益	140,000						140,000
会誌関係雑収益	0						0
単行本印税収益	1,200,000						1,200,000
複写権使用料収益	390,000						390,000
研究会事業収益		30,264,000			2,570,000		32,834,000
シンポジウム事業収益		17,090,000					17,090,000
講習会事業収益		10,300,000					10,300,000
懇談会事業収益		2,624,000			420,000		3,044,000
見学会事業収益		250,000			2,150,000		2,400,000
表彰事業収益			4,200,000		1,150,000		5,350,000
企業冠賞事業収益			4,200,000				4,200,000
研究企画賞事業収益					1,150,000		1,150,000
その他表彰事業収益							0
寄付金収益							6,660,000
受取寄付金		1,060,000	5,600,000				6,660,000

表 8.3 平成 29 年度正味財産増減予算書内訳表(2 / 4)
(平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日まで)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	共 通	合 計
	公 1 編集・出版	公 2 研究会	公 3 表 彰	公益事業共通			
雑収益						3,119,850	3,119,850
受取利息						9,850	9,850
雑収益						100,000	100,000
懇親会参加料収益						3,010,000	3,010,000
経常費用	45,809,130	51,664,566	17,746,168		5,350,159	16,274,410	136,844,433
事業費	45,809,130	51,664,566	17,746,168		5,350,159		120,570,023
編集出版事業費	26,240,855						26,240,855
印刷製本費	11,544,400						11,544,400
用紙費	3,944,990						3,944,990
原稿料・校正費	878,000						878,000
編集費	843,715						843,715
送達費	7,832,750						7,832,750
別冊作成費	315,000						315,000
電子出版費	882,000						882,000
雑支出	0						0
研究会事業費		27,724,573			2,389,000		30,113,573
シンポジウム費		16,948,200					16,948,200
講習会費		4,521,100					4,521,100
懇談会費		3,178,673			239,000		3,417,673
見学会事業費		0			2,150,000		2,150,000
研究会議費		133,600					133,600
寄付金		355,000					355,000
事務委託費		2,588,000					2,588,000
表彰事業費			11,944,507		55,900		12,000,407
表彰事業費			2,807,257				2,807,257
企業賞費用			3,537,250				3,537,250
国際賞費用			4,000,000				4,000,000
Mukaiyama Award費用			1,600,000				1,600,000
研究企画賞費					55,900		55,900
給料手当	10,026,378	11,461,992	2,865,498		1,435,614		25,789,482
アルバイト費	937,008	1,071,004	267,751		134,237		2,410,000
退職給付費用	804,770	920,000	230,000		115,230		2,070,000
退職金支出	1,217,652	1,392,000	348,000		174,348		3,132,000
その他人件費(福利厚生費)	2,182,368	2,494,847	623,712		312,480		5,613,406

表 8・4 平成 29 年度正味財産増減予算書内訳表(3 / 4)
(平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日まで)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	共 通	合 計
	公 1 編集・出版	公 2 研究会	公 3 表 彰	公益事業共通			
会議費	300,000	450,000	100,000		50,000		900,000
旅費交通費	588,000	882,000	196,000		98,000		1,764,000
通信費	360,000	540,000	120,000		60,000		1,080,000
什器備品費	51,000	76,500	17,000		8,500		153,000
事務用品・リース費	570,000	855,000	190,000		95,000		1,710,000
水道光熱費	87,000	130,500	29,000		14,500		261,000
事務所賃借料	1,310,100	1,965,150	436,700		218,350		3,930,300
雑費 (税・手数料・会費・IT)	1,134,000	1,701,000	378,000		189,000		3,402,000
管理費						16,274,410	16,274,410
給料手当						2,865,498	2,865,498
退職給付費用						230,000	230,000
退職金支出						348,000	348,000
その他人件費 (福利厚生費)						623,712	623,712
会議費						775,000	775,000
旅費交通費						2,041,000	2,041,000
通信費						276,000	276,000
什器備品費						17,000	17,000
事務用品・リース費						190,000	190,000
水道光熱費						29,000	29,000
事務所賃借料						436,700	436,700
諸謝金						1,100,000	1,100,000
懇親会費						6,000,000	6,000,000
雑費 (税・手数料・会費・IT)						1,342,500	1,342,500
評価損等調整前当期経常増減額	▲ 30,171,130	▲ 20,334,566	▲ 7,166,168	53,231,233	2,028	565,295	▲ 3,873,308
当期経常増減額	▲ 30,171,130	▲ 20,334,566	▲ 7,166,168	53,231,233	2,028	565,295	▲ 3,873,308
2. 経常外増減の部							
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額							
一般正味財産期首残高							301,275,969
一般正味財産期末残高							297,402,660
当期一般正味財産増減額							▲ 3,873,309

表 8・5 平成 29 年度正味財産増減予算書内訳表(4 / 4)
(平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日まで)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	共 通	合 計
	公 1 編集・出版	公 2 研究会	公 3 表 彰	公益事業共通			
【指定正味財産増減の部】							
指定正味財産運用益 (野依賞基金)							
特定資産受取利息			400				400
受取寄付金			4,000,000				4,000,000
一般正味財産への振替額			▲ 4,000,000				▲ 4,000,000
指定正味財産期首残高			3,779,272				3,779,272
指定正味財産期末残高			3,779,672				3,779,672
指定正味財産運用益 (Mukaiyama Award基金)							0
特定資産受取利息			1,500				1,500
受取寄付金			0				0
一般正味財産への振替額			▲ 1,600,000				▲ 1,600,000
指定正味財産期首残高			12,005,311				12,005,311
指定正味財産期末残高			10,406,811				10,406,811
【正味財産期末残高】							
正味財産期末残高							311,589,143

報告 4 永年会員昇格者

会員規程第 4 条により、満 75 歳で 20 年連続在籍者を 29 年度より永年会員とする(入会順 ; 敬称略)。

青木圭造 今福公明 近藤忠雄 染井正徳 吉藤正明 村山徹郎 岩隈建男
 宇根山健治 長尾善光 中筋一弘 齋藤 烈 森 美和子 橋本弘信 松井良業
 目黒寛司 広瀬克利 細川隆弘
 以上 17 名

その他 事案があれば挙手の上ご報告ください。

以上

【参考資料】

付表1 平成28年度決算の構成

科目	連結	支部会計					本部	支部会計					九州・山口	
		北海道	東北	関東	東海	関西		中国・四国						
I 一般正味財産増減の部														
1 一般正味財産の部														
2 (1) 経常収益	811,562	24,078,597	2,792,798	365	754,000	190,000	339	603,000	61,000	1,196,069	78,000			
3 特定資産運用利益	3,828													
4 (特定資産運用利益)	71,280,430													
5 (退職給付特定資産運用利益)	16,326,797													
6 (受取利息)	37,322,837													
7 (事業収益)	3,900,000	1,335,500			339	190,000		375,500	295	360,000	600,000			
8 (研究開発事業収益)	6,848,516	4,167			2,944			190,000	172		309			
9 (受取委託金)	7,111	1,317,930												
10 (雑収益)	3,276,700	1,739,700						60,500			261,200			
11 (雑収益)	141,285,711	27,346,741	355	12,998,917	3,548,075	113,938,870		12,998,917	3,548,075	1,617,241	939,509			
12 経常収益合計	26,083,745	23,693,620	2,565,617	199,511	700,979	26,083,745		12,037,838	2,565,617	1,839,161	446,183			
13 経常外収益	29,162,297	2,632,345				29,162,297				1,973,417	365,928			
14 研究開発事業費	315,000	9,805,175				315,000					190,911			
15 (委託費)	31,544,107	2,641,050				31,544,107				39,721	23,137			
16 雑収入	6,472,380	3,003,828				6,472,380								
17 雑収入	6,472,380	3,003,828				6,472,380								
18 退職給付費用	6,983,803	3,090,945				6,983,803								
19 退職給付費用	947,920	574,049				947,920								
20 会費	3,379,353	1,959,185				3,379,353								
21 通信費	1,267,647	1,157,678				1,267,647								
22 什器備品費	181,440	2,069,189				181,440								
23 事務用品・入費	260,645	4,367,520				260,645								
24 水道光熱費	1,095,552	5,785,297				1,095,552								
25 事務所賃借料	138,002,582	108,414,236				138,002,582								
26 雑費	3,283,129	8,924,334				3,283,129								
27 経常費用合計	348,333,248	32,567,846	518,634	2,589	12,309	348,333,248		12,309	4,091,194	2,457,222	101,367			
28 当期経常増減	8,750,513	5,126,774	20,163	509,844	270,727	8,750,513		5,126,774	20,163	1,864,070	18,514			
29 経常外増減	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0			
30 経常外費用	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0			
31 経常外収益	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0			
32 当期経常外増減	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0			
33 内部取引(他部)	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0			
34 本部会計への移入額	0	400,000				400,000			400,000					
35 本部会計からの移入額	0	400,000				400,000			400,000					
36 本部会計間の移入額(支部会計へ)	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0			
37 支部間移入	0	6,853,000				6,853,000								
38 支部間移入	0	840,000				840,000								
39 若手セブー研費	0	750,000				750,000								
40 新卒7年-5A	0	206,395				206,395								
41 繰上額計	0	8,649,395				8,649,395								
42 一般正味財産増減	3,283,129	3,008,200	459,000	619,000	206,395	3,008,200		619,000	2,097,395	879,000	879,000			
43 一般正味財産増減	297,992,840	275,379,439	459,000	100,731	275,379,439	297,992,840		100,731	1,154,276	301,930	144,490			
44 一般正味財産増減	301,275,969	275,654,278	459,000	3,814,436	206,395	301,275,969		3,814,436	7,444,712	1,930,699	2,767,028			
45 高砂資料館附属(野伏)基金														
46 (特定資産運用利益)	386					386								
47 特定資産受取利息	4,000,000					4,000,000								
48 受取寄付金	3,733,762					3,733,762								
49 一般正味財産への振替額	266,624					266,624								
50 当年度正味財産増減	3,512,648	3,779,272				3,512,648								
51 指定正味財産増減	1,517					1,517								
52 指定正味財産増減	1,517					1,517								
53 Mukaiyama Award賞金														
54 (特定資産運用利益)														
55 指定正味財産増減														
56 指定正味財産増減														
57 一般正味財産への移付額														
58 当年度指定正味財産増減														
59 指定正味財産増減														
60 指定正味財産増減														
61 指定正味財産増減														
62 指定正味財産増減														
63 指定正味財産増減														
64 指定正味財産増減														
65 指定正味財産増減														
66 指定正味財産増減														
67 指定正味財産増減														
68 指定正味財産増減														
69 指定正味財産増減														
70 指定正味財産増減														
71 指定正味財産増減														
III 正味財産増減	3,170,860,552	25,621,691	3,915,167	3,696,525	6,598,988	291,438,861		3,915,167	8,598,988	2,222,619	1,738,536			2,911,318